



高校生のための金融リテラシー講座





当てはまるものはありますか？

- 一人暮らしをしたい
- 海外留学したい
- やってみたい仕事がある
- お金を上手に貯めたい
- クレジットカードを持ちたい
- 「確実に儲かる方法がある」と聞いた



金融リテラシーの定義

『金融に関する健全な意思決定を行い、究極的には**金融面での個人の良い暮らし(well-being)**を達成するために必要な、金融に関する意識、知識、技術、態度及び行動の総体』

OECD/INFE「金融教育のための国家戦略に関するハイレベル原則」（2012/06）



金融リテラシーが高いと、

- ✓ 家計管理がしっかりしている
- ✓ 計画を立ててお金を準備しているので、やりたいことを実現しやすい
- ✓ 緊急時の備えがあるので、危機（自身のケガや病気、不景気による収入減など）に強い
- ✓ 詐欺や多重債務などの金融トラブルにあうことが少ない
- ✓ **経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる**



政府広報
消費者庁 消費者庁 消費者庁 消費者庁

×
新成人キャンペーン

新成人たちよ、
未来をつくれ。

18歳解禁
DON'T BE AFRAID!

2022年4月。成年年齢は、18歳になる。

成年年齢を20歳から18歳に引き下げること等を内容とした「民法の一部を改正する法律」が2022年4月1日から施行されます。

変わること	変わらないこと	注意してほしいこと
親の同意を得ずに、様々な契約が一人でできるようになります。	飲酒・喫煙・競馬等の投票券の購入の年齢制限は、20歳のままです。	一人で契約を結べるようになる反面、個人で契約を守る責任が生じます。消費者トラブルにはくれぐれもご注意ください。

政府広報 成年年齢引き下げ

成年年齢引下げ

18歳になると、できるようになること：

- 親の同意がなくとも契約できる
 - 携帯電話を契約する
 - 一人暮らしの部屋を借りる
 - クレジットカードをつくる
 - ローンを組む など

20歳にならないと、できないこと：

- 飲酒する
- 喫煙する
- 競馬等の投票券を購入する など



本講座の目的

- 自分の将来の暮らし方について考える
(ライフプランニング)
- そのために必要なお金と、準備の方法
(家計管理・資産形成など) を学ぶ
- 金融トラブルにあわないよう、手口や対処法
を知る



目次

- 1 家計管理とライフプランニング
～働いて「稼ぐ」とことと将来設計について
- 2 「使う」
- 3 「備える」～ 社会保険制度と民間保険
- 4 「貯める・増やす」～ 資産形成
- 5 「借りる」
- 6 金融トラブル
- 7 まとめ



1

家計管理とライフプランニング

～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について



クイズ



就職先から月給は20万円と言われた。毎月20万円までなら使って良い。○か×か？





1-1. 家計管理

家庭生活を営むための収入と支出の運営を管理することを「**家計管理**」といいます。

高校生の場合

収入

小遣い
お年玉
アルバイト代



支出

参考書・雑誌 洋服
家計補助 塾代
友人との遊び ゲーム
など



大学生や社会人になって、ひとり暮らしをする場合、
どのようなお金が必要でしょうか？



1-2. 家計管理

大学生の場合

収入

仕送り
アルバイト代
奨学金



支出

食費	飲食などに必要なお金
住居費	家賃など
水道光熱費	電気・水道・ガスの料金
通信費	電話やインターネットの料金
交通費	移動するのに必要なお金
被服費	洋服など
教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金
そのほか	冠婚葬祭や医療費など



+

収入

給与
賞与(ボーナス)

貯蓄

使わずに貯めておくお金

1-3. 給与明細から手取り収入を把握

毎月の**給与明細**や**賞与の支給明細**から、手取り収入を把握し、貯蓄や支出の基準にしましょう。

給与明細の例

(単位：円)

支給	基本給	時間外手当	通勤手当		支給額計
	200,000	8,000	10,000		218,000
控除	雇用保険	健康保険	厚生年金保険	介護保険*	社会保険料計
	654	10,890	20,130	0	31,674
	所得税	住民税			税額計
	3,910	7,200			11,110

$$\text{支給額} - (\text{税金} + \text{社会保険料}) = \text{手取り収入}$$

$$218,000 \text{ 円} - (11,110 \text{ 円} + 31,674 \text{ 円}) = 175,216 \text{ 円}$$

(出所) 金融広報中央委員会「大学生のための人生とお金の知恵」(2018年8月)

* 介護保険料は満40歳に達したときから、徴収されます

(体験) スマホでシミュレーターを使ってみよう!

金融経済教育 高校授業副教材

私たちの生活にかかわるお金について勉強してみよう!

<p>複利の効果を体験</p>  <p>資産形成 シミュレーター</p>	<p>安易に借りない</p>  <p>借金 シミュレーター</p>	<p>毎月の収支を プラスに</p>  <p>家計管理 シミュレーター</p>	<p>生涯年収と支出を うまくバランス</p>  <p>ライフプラン シミュレーター</p>
---	--	--	---

 [資料ポータル](#) [参考Webページ URL紹介画面](#)

- スマホのカメラで右のQRコードを読み込んでみてください。
- 上のようなトップページがあらわれます。(スマホでは縦長表示)



(体験) 家計管理シミュレーターを使ってみよう! (1)

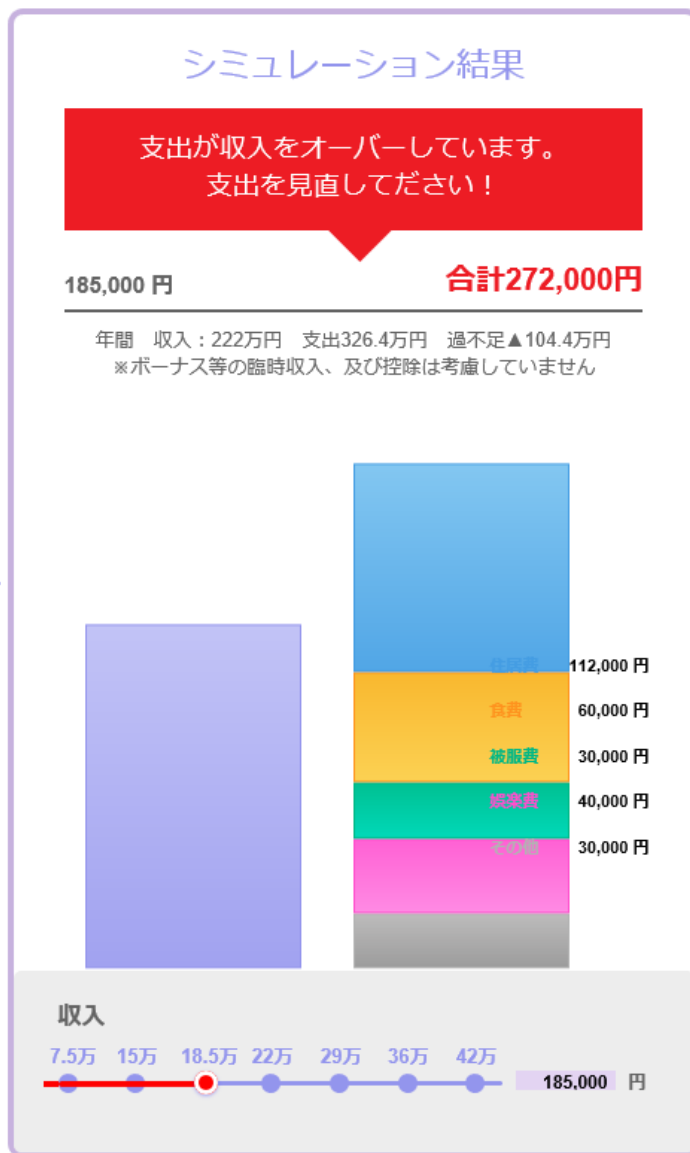
家計管理シミュレーター



- トップページから家計管理シミュレーターを押ししてください。
- 条件入力の赤い点が指で動かせるので、動かしてみましょう。
- 下記は目安です。

住居費	40,000円	70,000円	100,000円
	郊外 1R,1K	都会 1K,1R	都会 1LDK
通信費	3,000円	7,000円	12,000円
	格安SIM	スマホ	スマホ+ネット
食費	20,000円	40,000円	60,000円
	頑張って節約	普通の食生活	ほとんど外食
交通費	3,000円	10,000円	30,000円
	徒歩、自転車メイン	電車・バス	車を保有
被服費	3,000円	10,000円	30,000円
	必要最低限	平均並み	高級ブランド

(体験) 家計管理シミュレーターを使ってみよう！ (2)



- シミュレーション結果は下に表示されます。
- 左が収入で、右が支出です。
- 支出が収入の範囲におさまるように、支出項目を動かしてみよう！



1-4. 生涯の収入と支出

- (1) 「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを、「**ライフデザイン**」といいます。

- (2) **将来の夢、将来やりたいこと、希望するライフデザイン**のために、どうお金を準備するか、考えましょう。

- (3) 生涯の**収入、支出のイメージ**をつかみましょう。**収入と支出のバランスをとる**ことが大切です。

1-5. ライフプランニング

ライフプランニング = 人生の希望や計画を具体的に時系列で描くこと

どんな仕事をしたい？

独身？ 結婚？

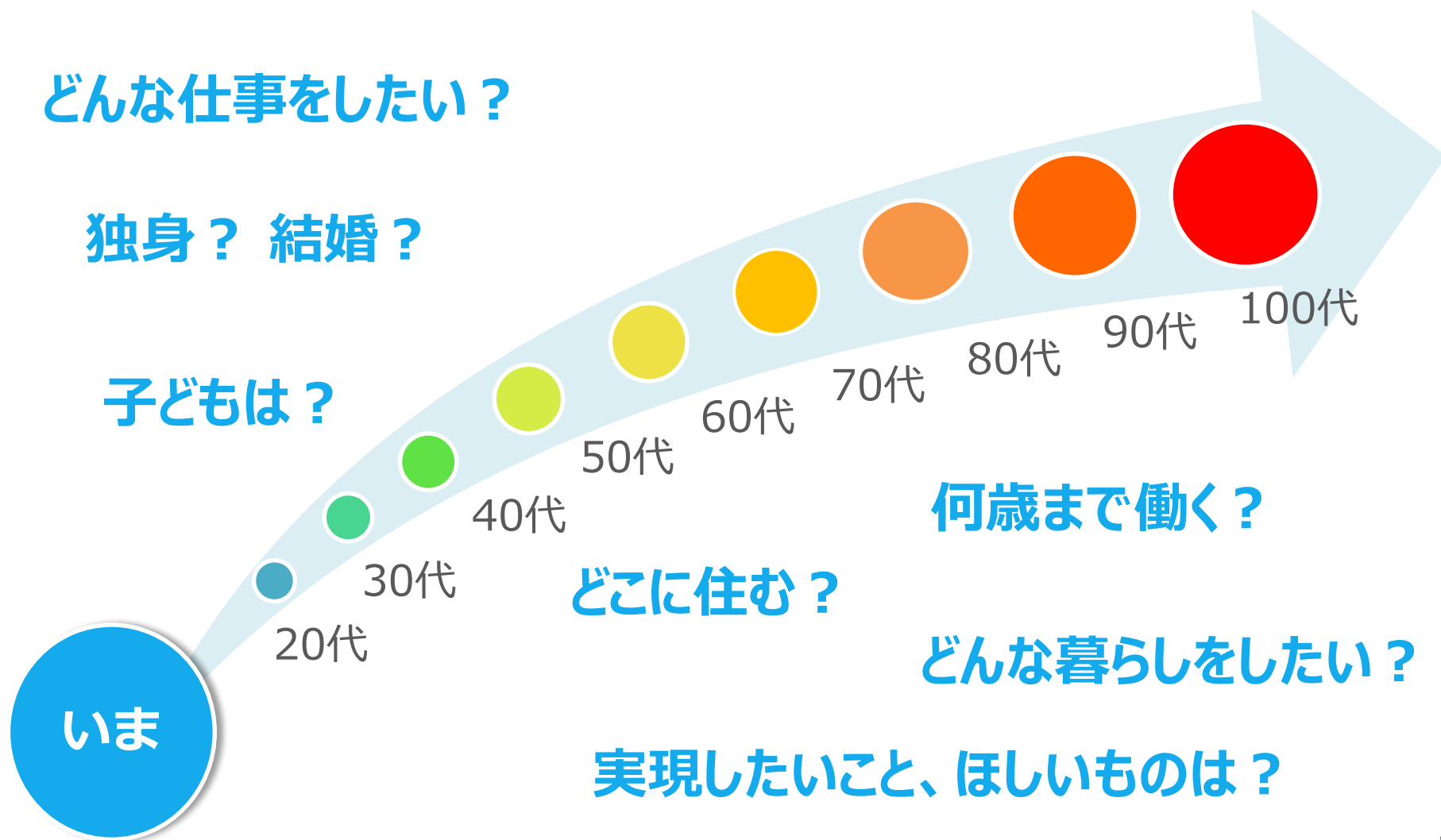
子どもは？

何歳まで働く？

どこに住む？

どんな暮らしをしたい？

実現したいこと、ほしいものは？



1-6. 多様な働き方（稼ぎ方）

(1) 雇用される

- 例) ・ **会社員（正社員、派遣社員）**
- ・ **公務員**
 - ・ **アルバイト、フリーター** *1 など

(* 1) 和製造語で、フリーアルバイターの略称。

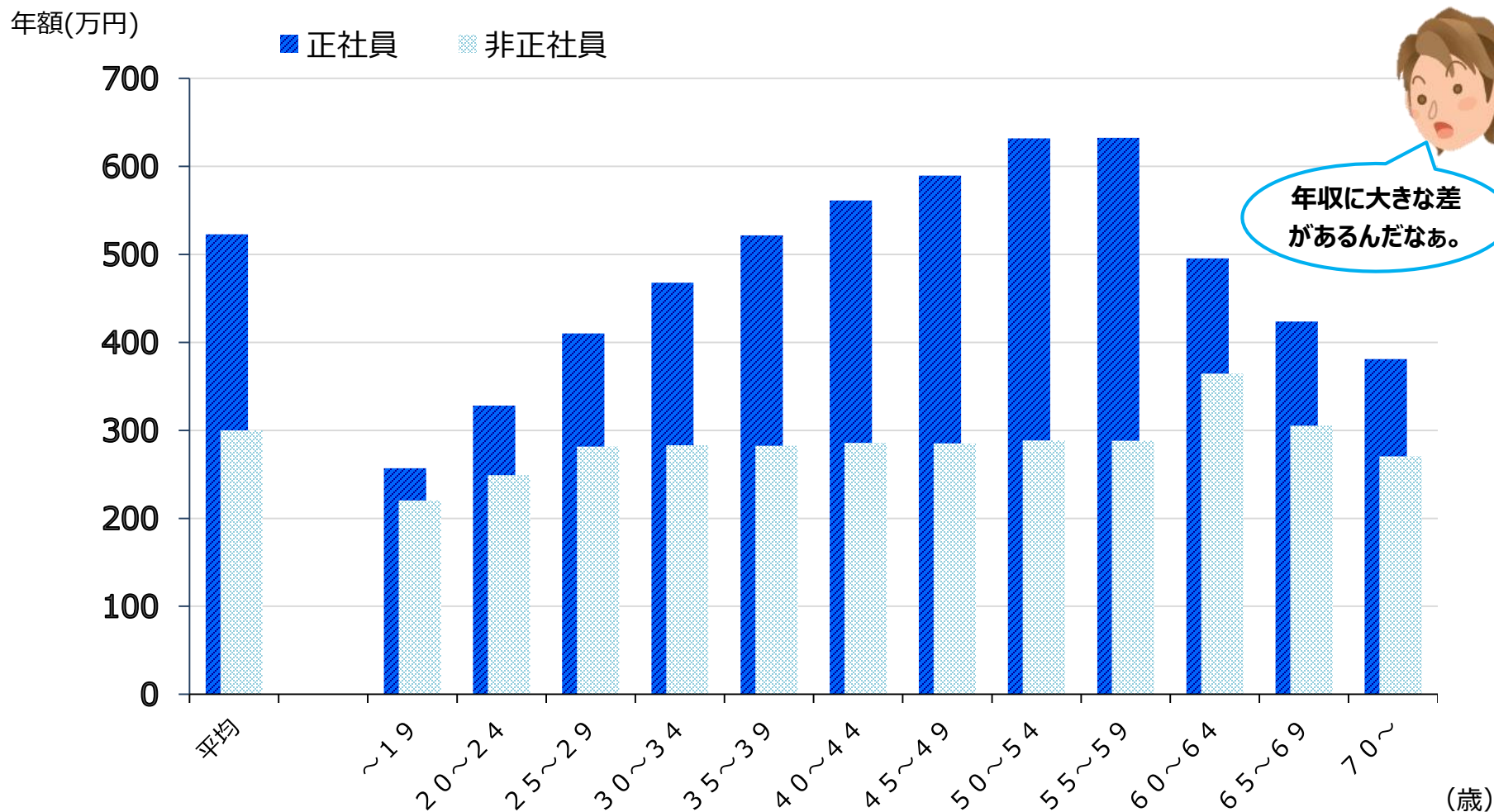
(2) それ以外

- 例) ・ **家業などを継ぐ**
- ・ **起業する**（会社を起こす）
 - ・ **フリーランス**（Freelance：自由契約者） *2 など

(* 2) フリーランサー（Freelancer）ともいう。



1-7. 雇用形態による年収の違い

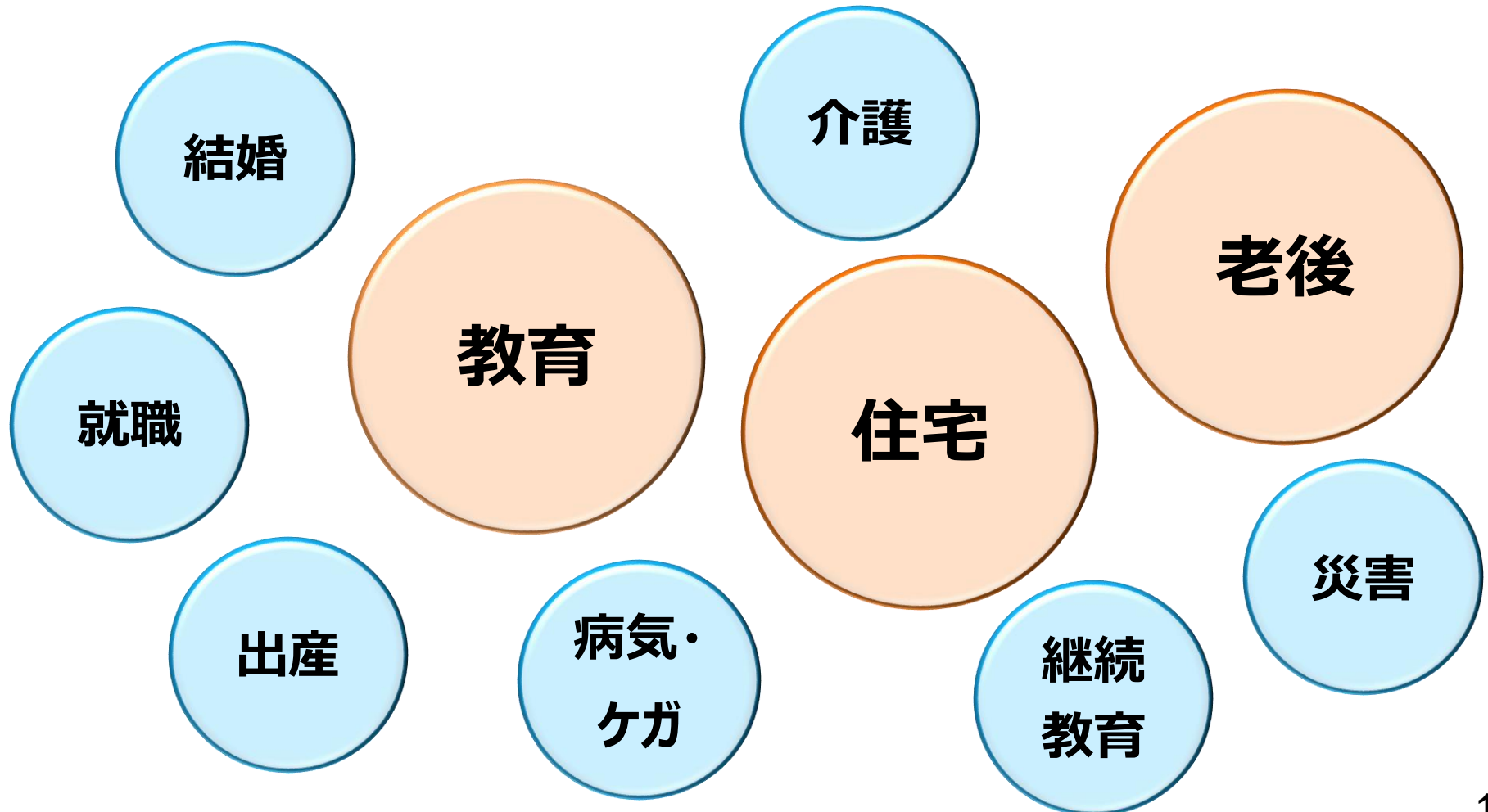


推定年収 = 「きまって支給する現金給与額」×12ヶ月 + 「年間賞与その他特別給与額」として試算
(出所) 厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」



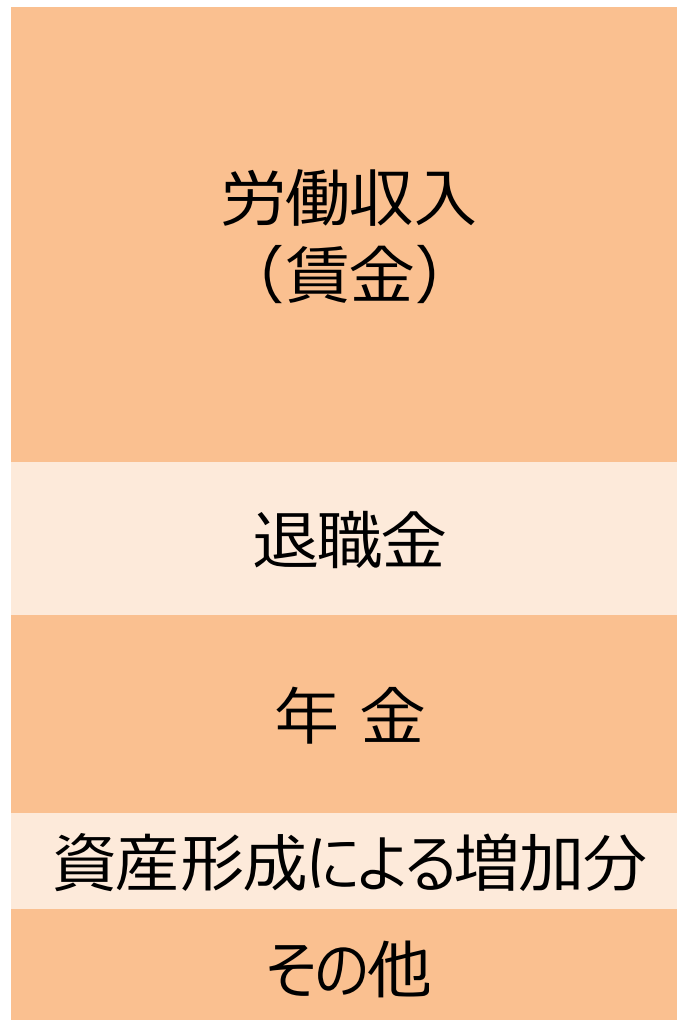
1-8. 人生の3大費用とは

一般的に、人生の3大費用は、「**教育**」「**住宅**」「**老後**」費用とされています。
(もちろん、個人によって、出来事や費用の大きさ、支出の順序には違いがあります)



1-9. 生涯の収支バランスのイメージ

<生涯総収入>



<生涯総支出>



(体験) ライフプランシミュレーターを使ってみよう！ (1)

ライフプランシミュレーター

条件入力

性別 男性 女性 回答しない

学歴 高卒 高専・短大卒 大学卒 大学院卒

何歳から働きますか？ 18歳 60歳 22歳

雇用種別 会社員・公務員 契約社員 アルバイト

任意の年収
※0万円を指定すると学歴や雇用種別などに応じた平均年収が適用されます。
 0万円 3,000万円 0万円

何歳まで働きますか？ 20歳 60歳 60歳
※シミュレーションは60歳まで

- 性別：自分の性別を選択
- 学歴：自分の希望する学歴を選択
- 何歳から働きますか：高卒であれば18歳、大卒であれば22歳を選択
- 雇用種別：会社員などを選択し、年収をゼロ（平均的な年収を反映）にするか、任意の年収を選択
- 何歳まで働きますか：シミュレーションは60歳まで。任意の年齢を選択



(体験) ライフプランシミュレーターを使ってみよう！ (2)

The image shows a life plan simulator interface with the following sections:

- 結婚しますか?** (Will you get married?): Radio buttons for "しない" (No) and "今後する予定" (Planning to do so later). A slider below shows an age selection of 30 years.
- 結婚相手の性別** (Spouse's gender): Radio buttons for "男性" (Male), "女性" (Female), and "回答しない" (No answer).
- 結婚相手の雇用種別** (Spouse's employment type): Radio buttons for "主婦・主夫" (Homemaker), "会社員・公務員" (Employee/Official), "契約社員" (Contract employee), and "アルバイト" (Part-time). Below is a text input for "任意の年収" (Optional annual income) with a slider from 0 to 3,000,000 yen, currently set to 0.
- 子どもを持つ予定は** (Do you plan to have children?): Four sliders for "第一子" (First child) at 35 years, "第二子" (Second child) at 40 years, "第三子" (Third child) at 0 years, and "第四子" (Fourth child) at 0 years.
- 子どもの教育は?** (Child's education?): Radio buttons for "大学まで国公立" (Public university), "小学校から私立" (Private elementary school), "中学から私立" (Private middle school), "高校から私立" (Private high school), and "大学から私立" (Private university).

- 結婚しますか：しない、する場合は自分の年齢を選択
- 結婚相手の性別：相手の性別を選択
- 結婚相手の雇用種別：相手がどんな仕事をするか選択。会社員などを選択し、年収をゼロ（平均的な年収を反映）にするか、任意の年収を選択
- 子どもを持つ予定はありますか：第一子から第四子まで、何歳で子どもを持つか選択
- 子どもの教育費は：国公立かどこから私立かを選択

(体験) ライフプランシミュレーターを使ってみよう！ (3)

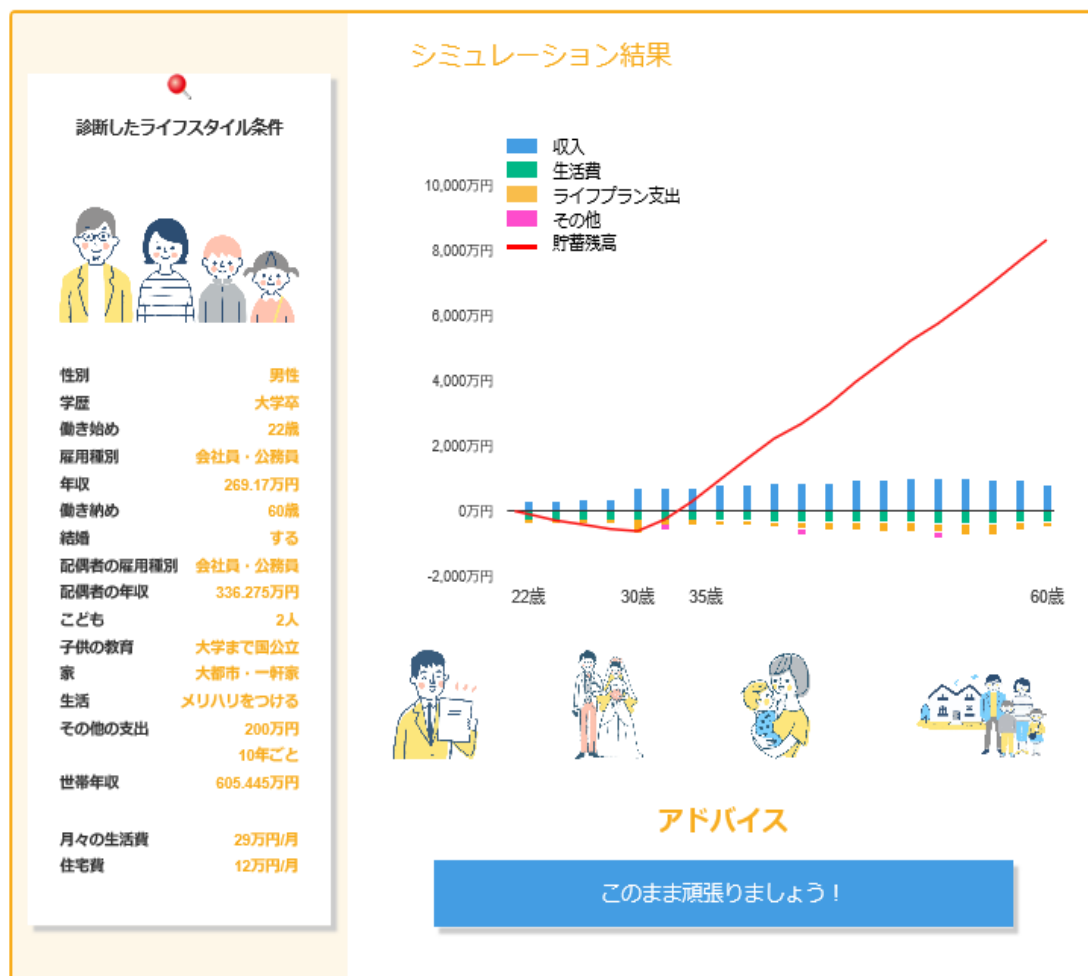
The image shows a life plan simulator interface with the following settings:

- 家は購入しますか?** (Do you buy a house?):
 - Radio buttons: 購入する (Buy), しない (No)
 - Slider: 20歳 to 60歳, set to 30歳の時 (at age 30)
 - Radio buttons: 大都市・一軒家 (Metropolitan area, detached house), 大都市・マンション (Metropolitan area, mansion), 地方・一軒家 (Rural area, detached house), 地方・マンション (Rural area, mansion)
- 生活は?** (Lifestyle?):
 - Radio buttons: なるべく節約する (Save as much as possible), 時には趣味にお金を費やすがメリハリをつける (Spend money on hobbies but with moderation), 旅行や趣味にお金をかける (Spend money on travel and hobbies)
- その他予定している** (Other planned):
 - Text: 例：10年毎に200万円の車を購入する (Example: Buy a 2 million yen car every 10 years)
 - Slider: 0年 to 60年, set to 10年ごと (every 10 years)
- 支出はありますか?** (Are there expenses?):
 - Slider: 0万円 to 3,000万円, set to 200万円 (2 million yen)

At the bottom, there is a red button labeled **結果を見る** (View results).

- 家は購入しますか：しない、する場合は大都市・地方、一軒家・マンションを選択
- 生活は：生活スタイルを選択
- 予定している支出：例えば車の定期的な購入（10年ごとに200万円）などを選択する
- 結果を見るボタンを押す

(体験) ライフプランシミュレーターを使ってみよう！ (4)



- 年齢ごとの収入・支出の棒グラフ、貯蓄の折れ線グラフが表示されます
- 60歳になる時にマイナスにならないようにしましょう

どんな点を重視したか、結果はどうだったか、話し合ってみましょう。



まとめ（1章のポイント）

- (1) 家庭の収入と支出を管理（**家計管理**）し、**貯蓄**をしましょう。

- (2) 将来どんな人生を送りたいかを考え、具体的に人生の希望や計画を時系列に描いてみましょう。（**ライフプランニング**）

- (3) 年収の違いを含め**多様な働き方**を知ったうえで、自分がどのように働くかを考えましょう。

- (4) **「教育」「住宅」「老後」**という人生の3大費用に対して、計画的に準備しましょう。



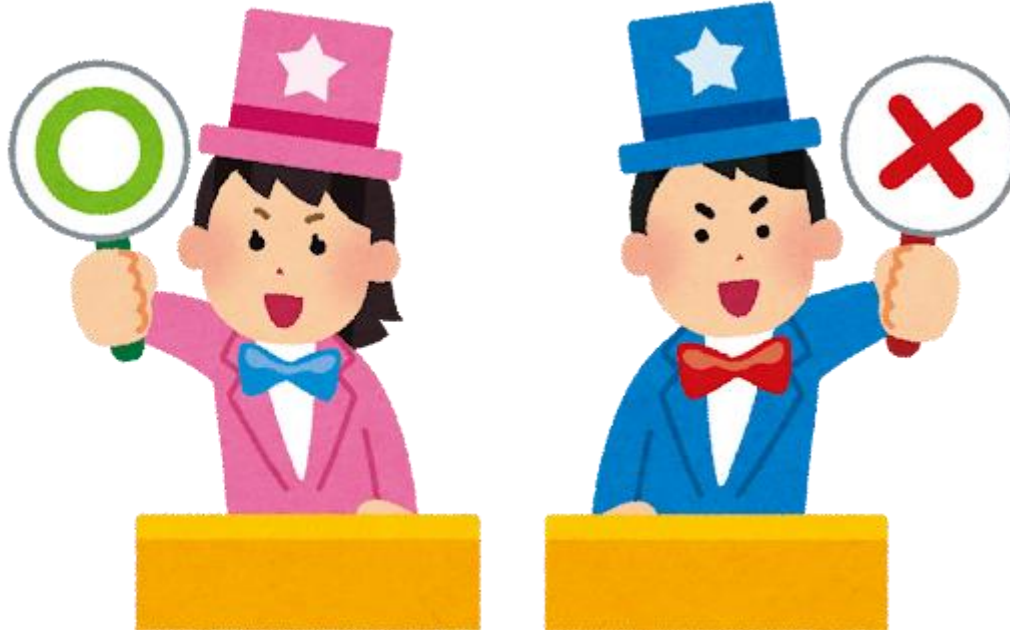
2 「使う」



クイズ



毎月残った金額を貯蓄していくと、貯蓄を増やしやすい。
○か×か？





2-1. ニーズとウォンツ

- (1) 「必要なもの」と「欲しいもの」を区別し、お金の使い方を考える時は、「それは必要なもの（ニーズ/needs）なのか、欲しいもの（ウォンツ/wants）なのか」、自問してみましょう。
-
- (2) 「必要なものを優先する」（欲しいものは余裕があるときに買う）ことを考えてみましょう。
-



2-2. 家計管理のポイント

✕ $\text{収入} - \text{支出} = \text{貯蓄}$

○ $\text{収入} - \text{貯蓄} = \text{支出}$



2-3. キャッシュとキャッシュレス

(1) キャッシュ

物理的な現金（紙幣・硬貨）

現金



(2) キャッシュレス

現金の授受をせず、支払や受取をデジタル化された価値の移転で行うこと

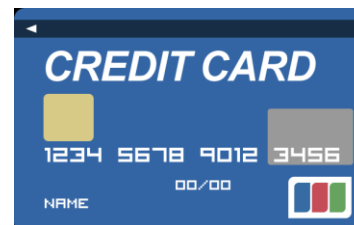
電子マネー



デビットカード



クレジットカード



QRコード





2-4. キャッシュレス決済のメリット・注意点



キャッシュレス決済には、
どのようなメリット・注意点があるでしょうか？

メリット

- ✓ 現金をたくさん持ち歩かなくてよい
- ✓ ATMに立ち寄る回数が減る
- ✓ お金のやり取りが簡単
- ✓ 何にいくら使ったか、アプリで確認できる など

注意点

- ✓ 使った実感が湧きにくいので、使いすぎてしまいやすい
- ✓ 店舗によって利用できないこともある
- ✓ 停電時などに使えない
- ✓ 不正送金など犯罪への不安 など



まとめ（2章のポイント）

- (1) 「必要なもの（ニーズ）」と「欲しいもの（ウォンツ）」に分けて、お金を賢く使いましょう。
-

- 家計管理では、**収支を黒字に**することが基本です。先に収入から一定額を貯蓄に回し、支出をやりくりするとお金が貯まりやすくなります。
- (2)
-

- (3) **キャッシュレス決済**のメリット・注意点を知り、自分に合った使い方を考えましょう。
-



3 「備える」～ 社会保険と民間保険



クイズ



実際にある保険はどれ？

- ① ペットの病気やケガの治療費を補償する保険
- ② 旅行先が雨だったら旅行代金が戻ってくる保険
- ③ ライブに行けなくなってしまった時にチケット代が戻ってくる保険





3-1. 様々なリスク

人生には、病気やケガ、火災や事故など、様々なリスクがあります。
例えば、



バイクで転倒してケガをした



自転車で他人にぶつかってケガをさせてしまった



様々なリスクに対し、どうやって備えるとよいでしょうか？



3-2. 保険の仕組み

様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金を出し合って、必要なお金が支払われるという仕組みが「**保険**」です。





3-3. 社会保険と民間保険

- (1) 日本には、社会基盤として**社会保険制度***があります。

* 年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労災保険の制度

- (2) ご自身のライフプランにあわせて、社会保険と**資産形成**や**民間保険**（生命保険、損害保険）の利用を組み合わせるとよいでしょう。

生命保険・・・人の生死や病気・ケガを保障する保険

損害保険・・・物が壊れたときの損害などを補償する保険



まとめ（3章のポイント）

- (1) 様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金を出し合って、必要なお金が支払われる仕組みが「**保険**」です。

- (2) 日本には社会基盤としての**社会保険**制度があります。

- (3) 民間保険には、**生命保険**（人に対する保険）と**損害保険**（モノに対する保険）があります。

- (4) ライフプランに合わせて、**社会保険**、**資産形成**、**民間保険**の利用を組み合わせましょう。



4 「貯める・増やす」～ 資産形成



クイズ



確実に儲かるという投資を紹介され、リスクがないなら安全だと思って始めた。○か×か。





4-1. どうして資産形成が必要なのか？

- まずは家計管理をしっかり行い、貯蓄しましょう
- ただ、超低金利のもとでは、預貯金ではお金は増えません
- 物価上昇（インフレ）すると、貯蓄の価値が目減りする可能性があります
- ライフプランの選択肢が多様化し、一人一人が自由に生きる時代です



目的別に金融商品を活用しながら、皆さん一人一人が自分に合った資産形成を行い、将来に向けて準備していきましょう。
語学やPCスキルを学ぶ、資格を取得するなど自己投資を行い、稼ぐ力を高めることも大切です。



4-2. 利子と金利

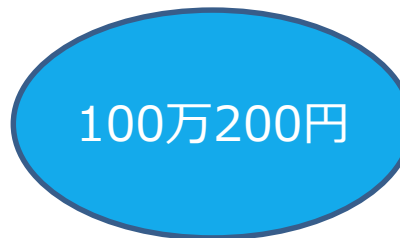
(1) 利子 (利息)

借りたり貸したりしたお金の、一定の割合で支払われる対価 (金額)

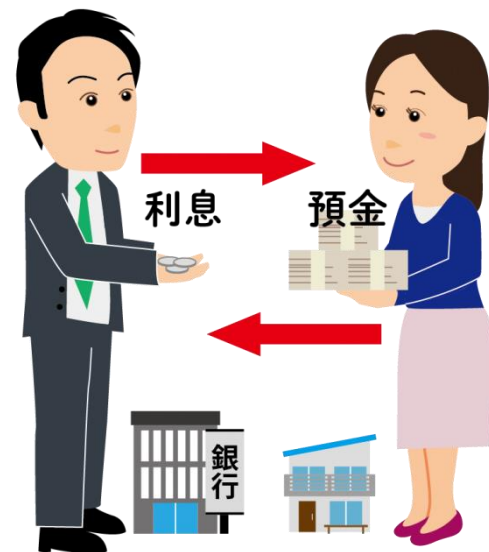
(2) 金利 (利率)

貸し付けたり借りたりした資金に対する対価の利率 (%)

例) 金利0.02%で100万円を銀行に預ける



200円が
利子

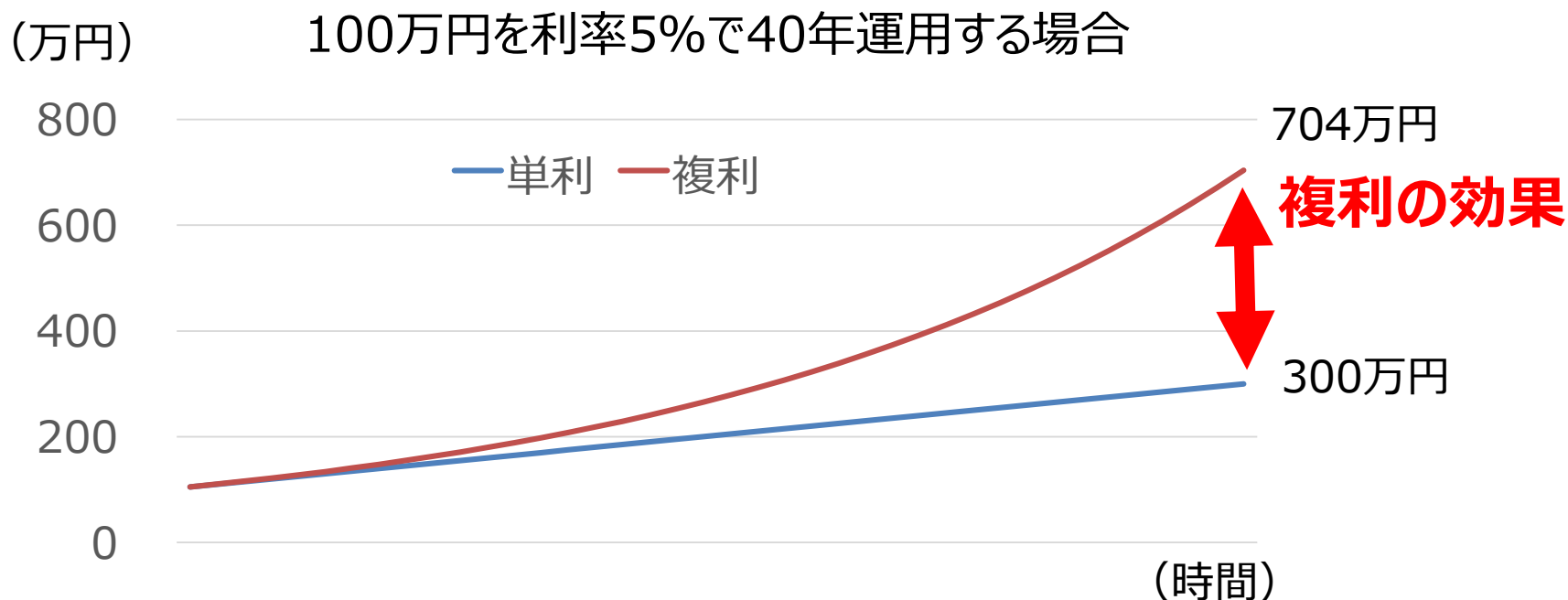


お金を預ける時は、金利が高い・低いどちらが良いですか？
お金を借りる時は、金利が高い・低いどちらが良いですか？



4-3. 単利と複利

- 最初の元本のみで利子がつくことを「**単利**」と呼びます
- 元本のみならず、利子も運用すれば、その利子にも利子がつくことを「**複利**」と言います

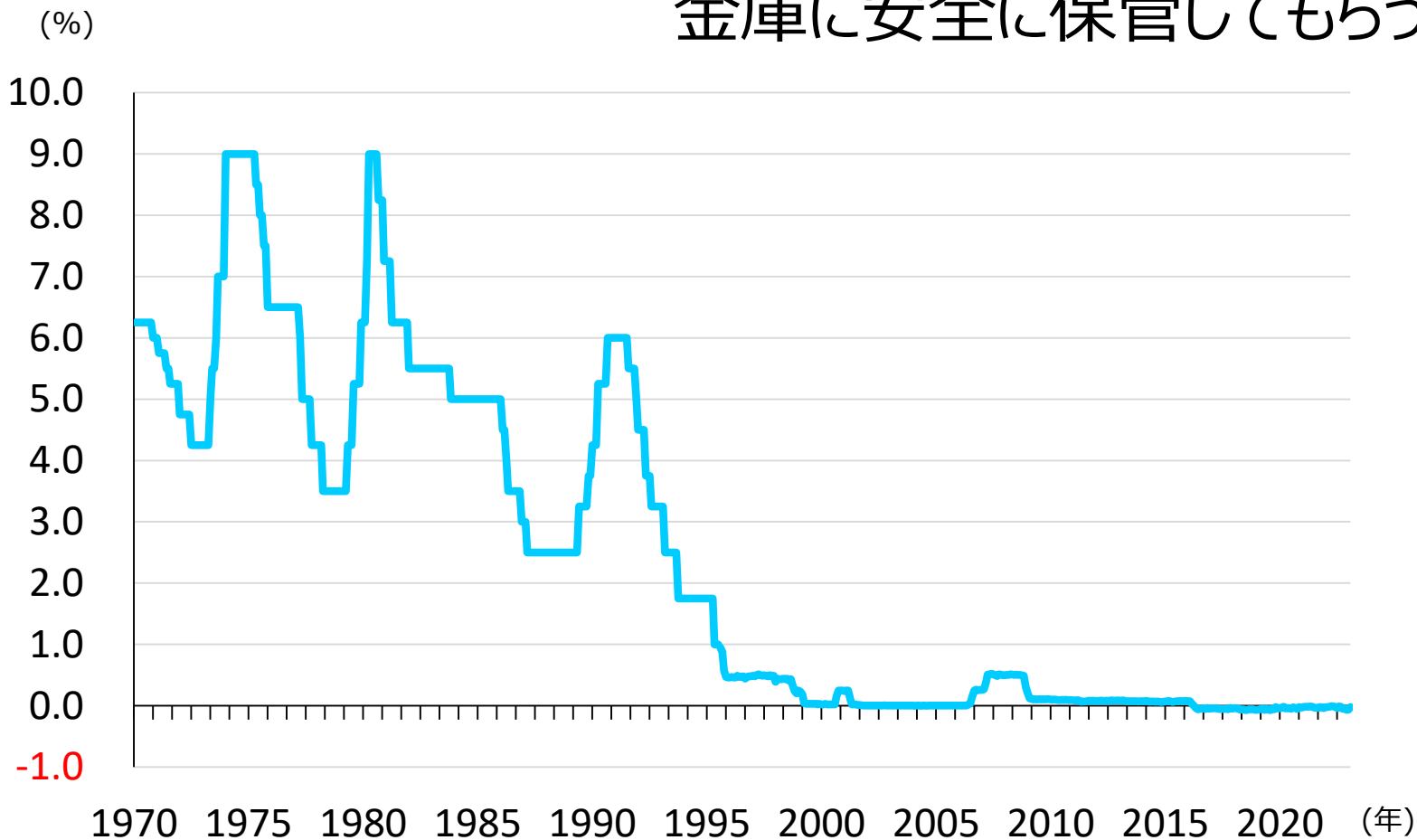


複利の効果は、金利が高いほど、期間が長いほど、大きくなります。



4-4. 金利の推移

銀行に預ける = 現在の金利は、ほぼゼロ
金庫に安全に保管してもらう



(出所) 日本銀行

(注) 1995年6月までは公定歩合（基準貸付利率）、それ以降は無担保コールO/N物レートの月中平均金利



4-5. 金融商品の3つの基準

どのくらい利益
が期待できるか

収益性

3つの基準すべてを完全
に満たす金融商品はない

安全性

流動性

元本が減らないかどうか

お金を引き出しやすいかどうか

元本とは、金融商品の購入・投資に
充てた資金の額。いわゆる元手です。



4-6. 主な金融商品の特徴①

預金 貯金

- ・ 銀行等にお金を預けること
- ・ 給与の受け取り、公共料金の引き落としなどでも利用
- ・ お金の引き出しが簡単（銀行やコンビニのATMなど）
- ・ 元本保証あり（各金融機関で元本1,000万円までと

その利息)

元本保証とは、金融商品の購入・投資に充てた資金が減ることはないということ。



⇒ 預金・貯金は、一般的に、**収益性は低い（△）**が、**安全性・流動性は最も高い（◎）**。



4-7. 主な金融商品の特徴②

債券

- ・ 国や会社にお金を貸すこと
- ・ 定期的に利子が支払われ、満期がくれば額面金額を受け取ることができる
- ・ 国が発行するものを「国債」
会社が発行するものを「社債」という
- ・ 発行した会社等が倒産すると、返済されない可能性がある

(元本は保証されていない)



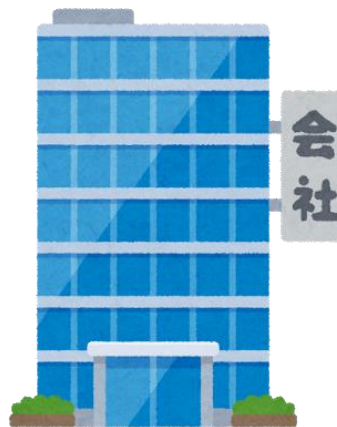
⇒ 債券の**安全性は、国債は高く（◎）、社債は発行企業次第**。
一般的に、**流動性は低く（△）、収益性は、預金より高く、株式より低い（○）**。



4-8. 主な金融商品の特徴②

株式

- ・ 購入者（株主）は会社の一部を所有することになり、会社はお金を返す必要はない
- ・ 会社が上げた利益に応じて配当などを受け取ることができる
- ・ 会社の業績や、国内・海外の景気などによって、株式の価値（株価）も変動する
（元本は保証されていない）



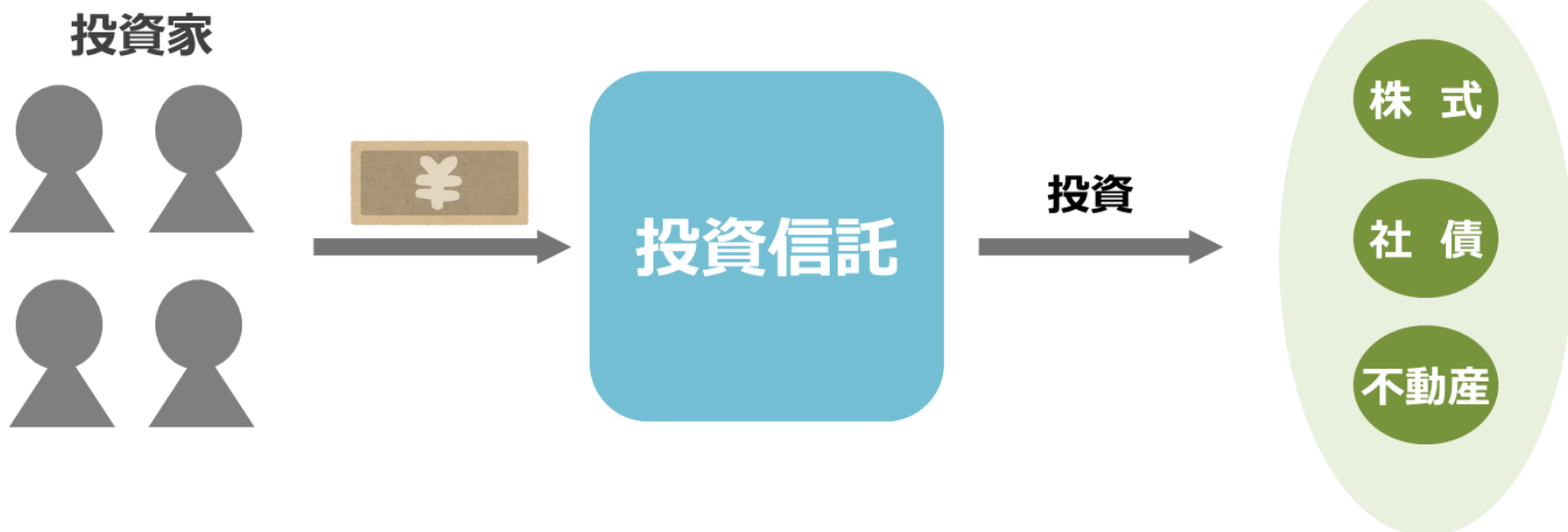
⇒ 株式は、**安全性は低い（△）**が、**高い収益性（◎）**が期待できる。
流動性は高い（○）。



4-9. 主な金融商品の特徴③

投資 信託

- ・ 多くの人から集めたお金を、1つにまとめて大きな資金にし、**株式や債券**などに**投資する仕組み**
- ・ ファンドともいう
- ・ 株価の変動などによって、価格が日々変動する
(元本は保証されていない)
- ・ 少ない金額から購入できたり、分散投資もしやすい



⇒ 投資信託の**収益性、安全性は、投資対象次第**。**流動性は高い (○)**。



4-10. 主な金融商品の特徴まとめ

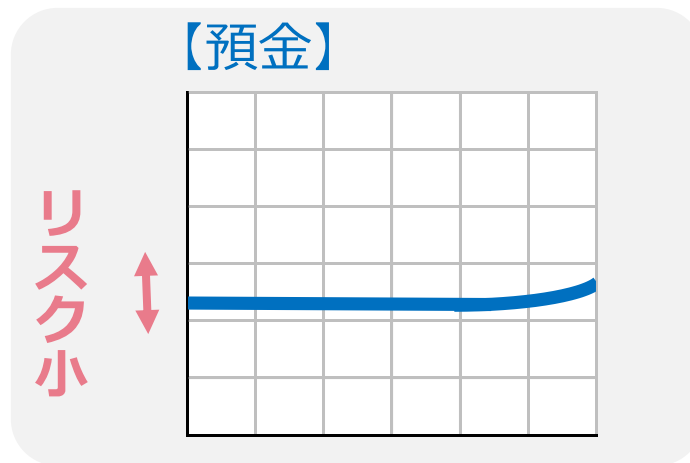
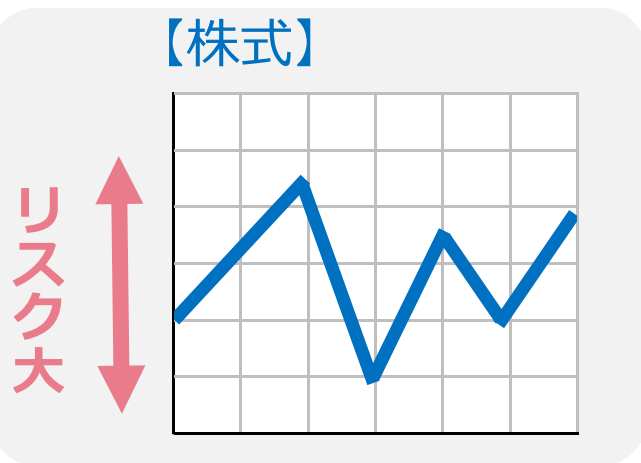
	安全性	収益性	流動性
預金・貯金	◎	△	◎
株式	△	◎	○
債券	○	○	△
投資信託	△～○	○～◎	○

⇒ 3つとも◎の金融商品はありません。目的に応じて使い分けましょう。

4-11. リスクとは？

- お金を運用した結果、得られる利益や損失のことを「リターン」といいます。
- このようなリターンの不確実性の大きさ、振れ幅の大きさのことを「リスク」といいます。

リターンの
振れ幅

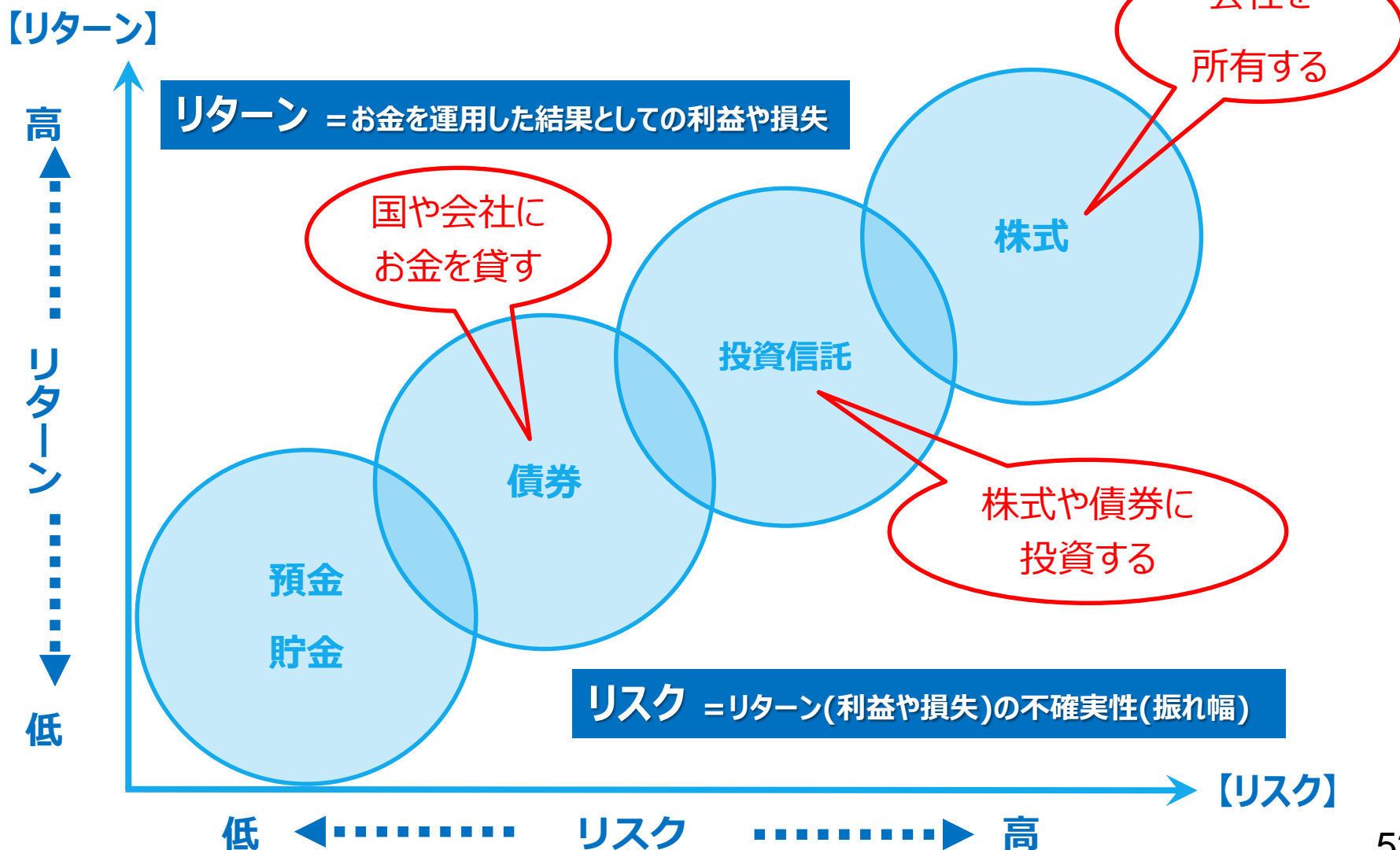


金融商品は自分の意思で選ぶため、
利益・損失は自己責任です。（自己責任原則）

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

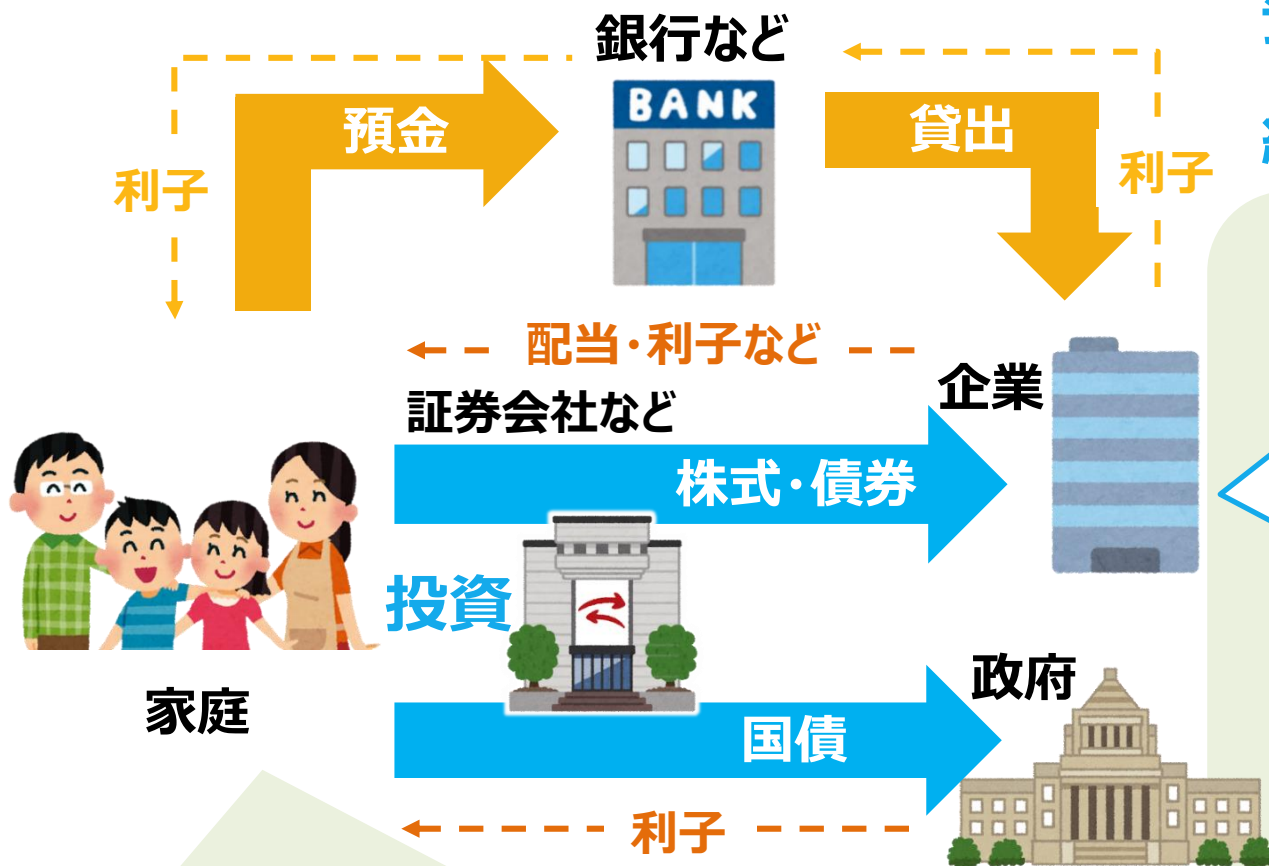
4-12. リスク・リターンの関係

(注) あくまでもイメージです。厳密な表現ではありませんので、ご注意ください。





4-13. 預金と投資



預金や投資したお金は
経済活動に使われる

設備投資
商品・サービスの提供
株主への配当
従業員への給与

公共サービス

私たちの生活が
より豊かで便利に

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

4-14. 投資を通じて社会課題の解決に貢献

SDGsとは

「**持続可能な世界を実現する**」ことを目指して、国連サミットで採択された国際目標。貧困や飢餓、保健、教育、ジェンダー、環境、生産、雇用など、幅広く17のゴール・169のターゲットから構成される。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



私たち

商品の購入



投資



SDGsに取り組む企業

⇒ **消費**（商品の購入）や**投資**（債券・株式の購入）等による**資金提供**を通じて、**社会をより良くすることに貢献できる**

4.「貯める・増やす」～資産形成

(体験) 資産形成シミュレーターを使ってみよう！(1)

条件入力

資産シミュレーター 積立シミュレーター

投資金額 10万円 1,000万円 100万円

シナリオ1 シナリオ2 シナリオ3

利率(年利)

0.001% 15% 0.001% 15% 0.001% 15%

0.001% 0.7% 7.2%

シナリオ2,3も同じ数値を使う

設定期間

1年 50年 1年 50年 1年 50年

20年 20年 20年

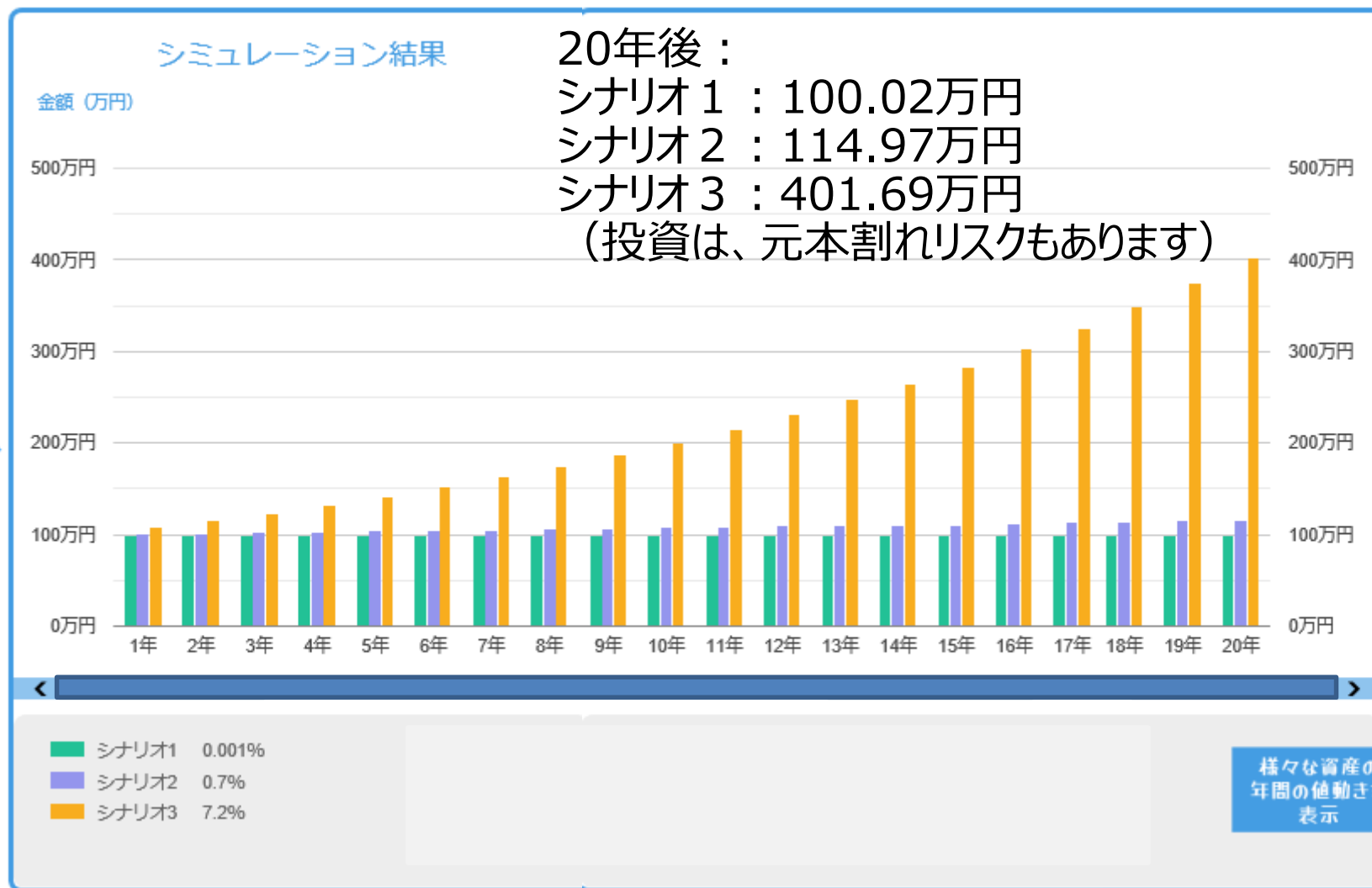
シナリオ2,3も同じ数値を使う

- 資産：積立：資産シミュレーターを選択
- 投資金額：100万円になっていますが、変更できます
- 利率：シナリオ1～3まで1年でどのくらい増えるか利率を入れます。シナリオ1は預金金利、シナリオ2は国内債券の平均利回り、シナリオ3は海外株式の平均利回りです
- 設定期間：長期投資の目標である20年にセットしています



4.「貯める・増やす」～資産形成

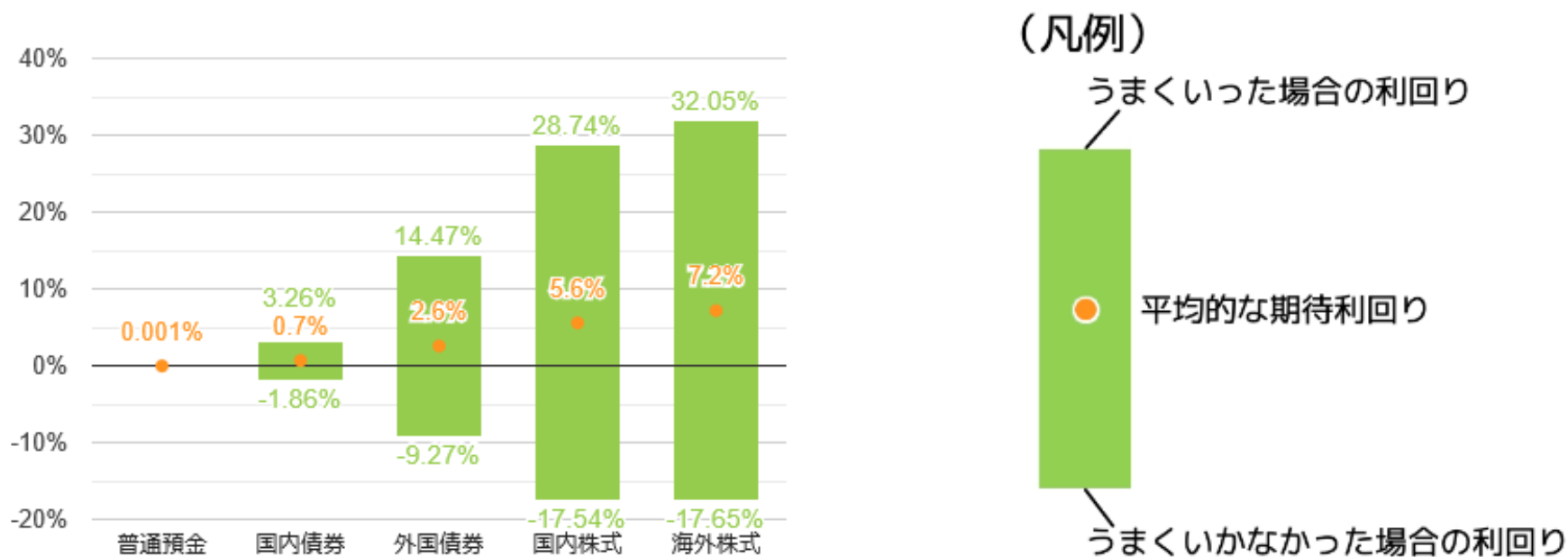
(体験) 資産形成シミュレーターを使ってみよう！ (2)



4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

(体験) 資産形成シミュレーターを使ってみよう！ (3)

様々な資産の年間の値動きの想定



出所：年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の基本ポートフォリオの考え方を基に金融庁が算定



まとめ（4章のポイント）

- (1) **目的別に金融商品を活用**しながら、自分に合った資産形成を行い、将来に向けて準備しましょう。

- (2) お金を預けると利子をもらえ、お金を借りると利子を払わなくてはなりません。**利子は金額、利率は%**で示されます。

- (3) 元本のみにも利子がつくことを「**単利**」、利子も運用すれば利子にも利子がつくことを「**複利**」といいます。

- (4) 金融商品の3つの基準「**収益性**」「**安全性**」「**流動性**」を全て満たす商品はありません。目的に応じて使い分けましょう。

- (5) 「**預貯金**」「**債券**」「**株式**」「**投資信託**」の特徴を知りましょう。

- (6) 投資とは自分の資金を経済活動に提供することで、利益の一部を受け取ることです。経済活動により、**私たちの生活がより豊かで便利**になります。

応用編

4 「貯める・増やす」～ 資産形成

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

4-1. どうして資産形成が必要なのか？

- まずは家計管理をしっかり行い、貯蓄しましょう
- ただ、超低金利のもとでは、預貯金ではお金は増えません
- 物価上昇（インフレ）すると、貯蓄の価値が目減りする可能性があります
- ライフプランの選択肢が多様化し、一人一人が自由に生きる時代です



目的別に金融商品を活用しながら、皆さん一人一人が自分に合った資産形成を行い、将来に向けて準備していきましょう。
語学やPCスキルを学ぶ、資格を取得するなど自己投資を行い、稼ぐ力を高めることも大切です。

4-2. 利子と金利

(1) 利子（利息）

借りたり貸したりしたお金に、一定の割合で支払われる対価（金額）

(2) 金利（利率）

貸し付けたり借りたりした資金に対する対価の利率（%）

例) 金利0.02%で100万円を銀行に預ける

100万円

1年後



100万200円

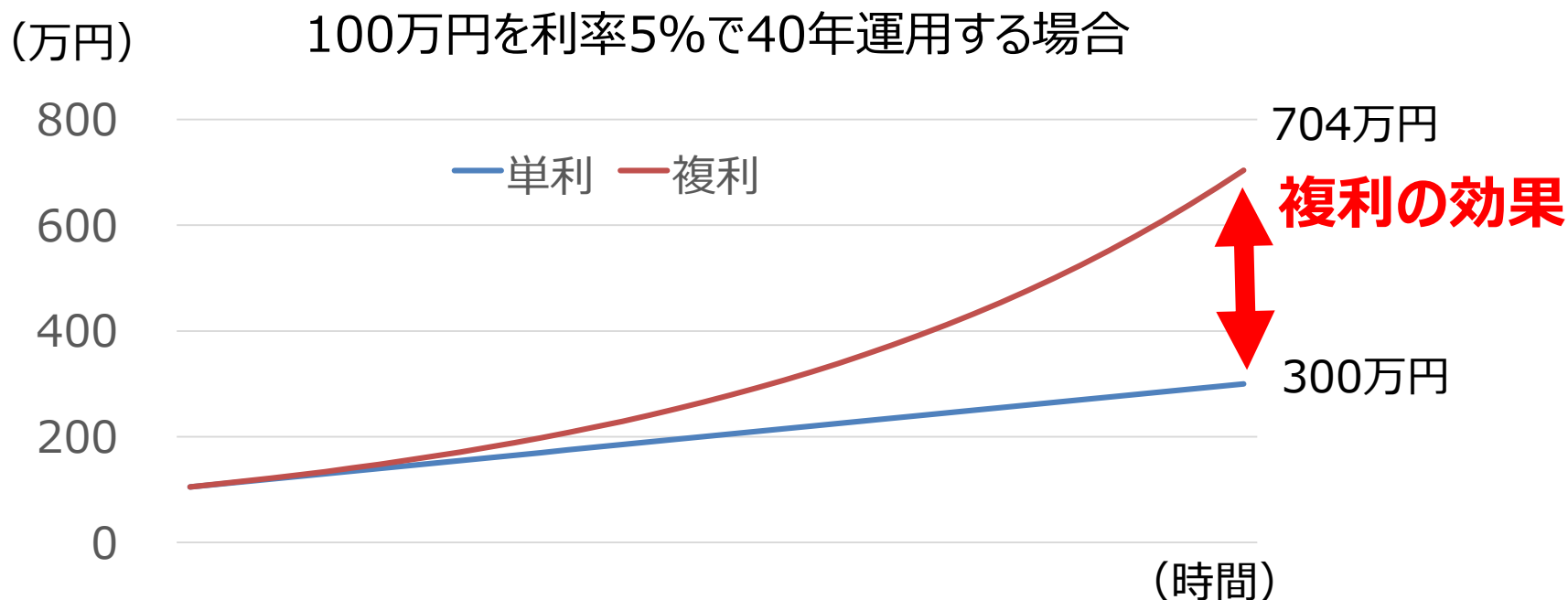
200円が
利子



お金を預ける時は、金利が高い・低いどちらが良いですか？
お金を借りる時は、金利が高い・低いどちらが良いですか？

4-3. 単利と複利

- 最初の元本のみで利子がつくことを「**単利**」と呼びます
- 元本のみならず、利子も運用すれば、その利子にも利子がつくことを「**複利**」と言います



複利の効果は、金利が高いほど、期間が長いほど、大きくなります。

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

4-4. 金利を実感してみよう（72の法則！）

72の法則 「元本が2倍になる金利と年数の関係」

$$72 \div \text{金利} \div \text{お金} \times 2 \text{になる期間 (年)}$$

(%)

(例) 10,000円（元本）が20,000円になるのに必要な年数

世代イメージ

祖父母世代

親世代

今

預金金利：8%

預金金利：6%

預金金利：0.02%

10,000円(元本)が
20,000円になるのに
必要な年数

約9.0年

約12年

約3,600年

$$72 \div 8$$

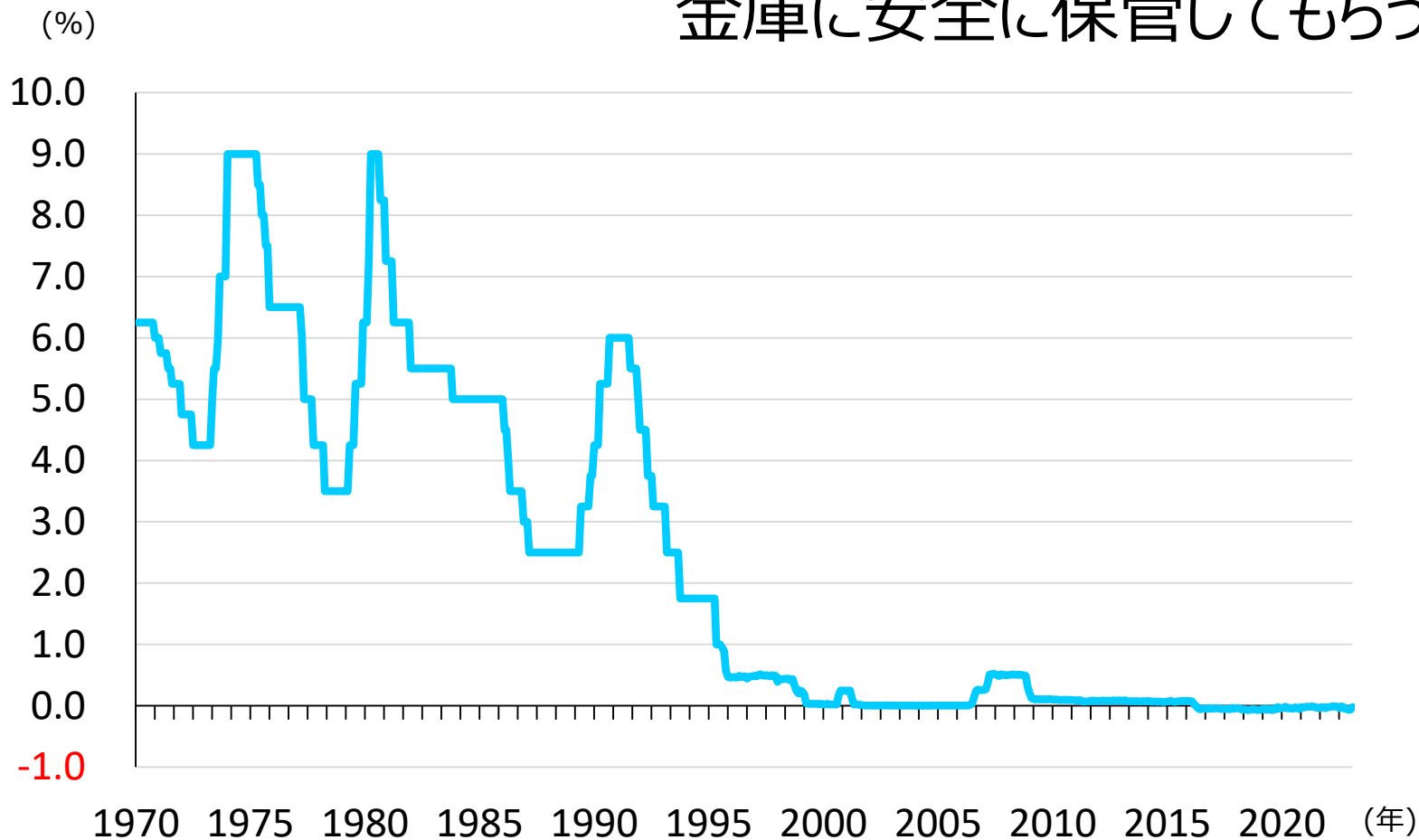
$$72 \div 6$$

$$72 \div 0.02$$



4-5. 金利の推移

銀行に預ける = 現在の金利は、ほぼゼロ
金庫に安全に保管してもらう



(出所) 日本銀行

(注) 1995年6月までは公定歩合（基準貸付利率）、それ以降は無担保コールO/N物レートの月中平均金利

4-6. 金融商品の3つの基準

どのくらい利益
が期待できるか

収益性

3つの基準すべてを完全
に満たす金融商品はない

安全性

流動性

元本が減らないかどうか

お金を引き出しやすいかどうか

元本とは、金融商品の購入・投資に
充てた資金の額。いわゆる元手です。

4-7. 主な金融商品の特徴①

預金

貯金

- ・ 銀行等にお金を預けること
- ・ 給与の受け取り、公共料金の引き落としなどでも利用
- ・ お金の引き出しが簡単（銀行やコンビニのATMなど）
- ・ 元本保証あり（各金融機関で元本1,000万円までと

その利息)

元本保証とは、金融商品の購入・投資に充てた資金が減ることはないということ。



⇒ 預金・貯金は、一般的に、**収益性は低い**（△）が、**安全性・流動性は最も高い**（◎）。

4-8. 主な金融商品の特徴②

債券

- ・ 国や会社にお金を貸すこと
- ・ 定期的に利子が支払われ、満期がくれば額面金額を受け取ることができる
- ・ 国が発行するものを「国債」
会社が発行するものを「社債」という
- ・ 発行した会社等が倒産すると、返済されない可能性がある

(元本は保証されていない)

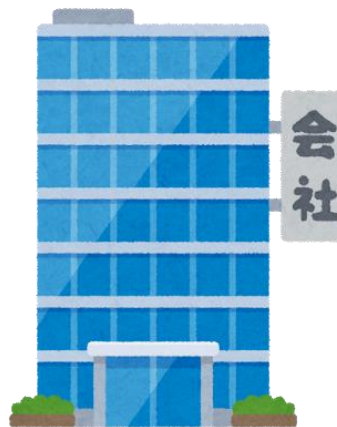


⇒ 債券の**安全性は、国債は高く（◎）、社債は発行企業次第**。
一般的に、**流動性は低く（△）、収益性は、預金より高く、株式より低い（○）**。

4-9. 主な金融商品の特徴②

株式

- ・ 購入者（株主）は会社の一部を所有することになり、会社はお金を返す必要はない
- ・ 会社が上げた利益に応じて配当などを受け取ることができる
- ・ 会社の業績や、国内・海外の景気などによって、株式の価値（株価）も変動する
（元本は保証されていない）

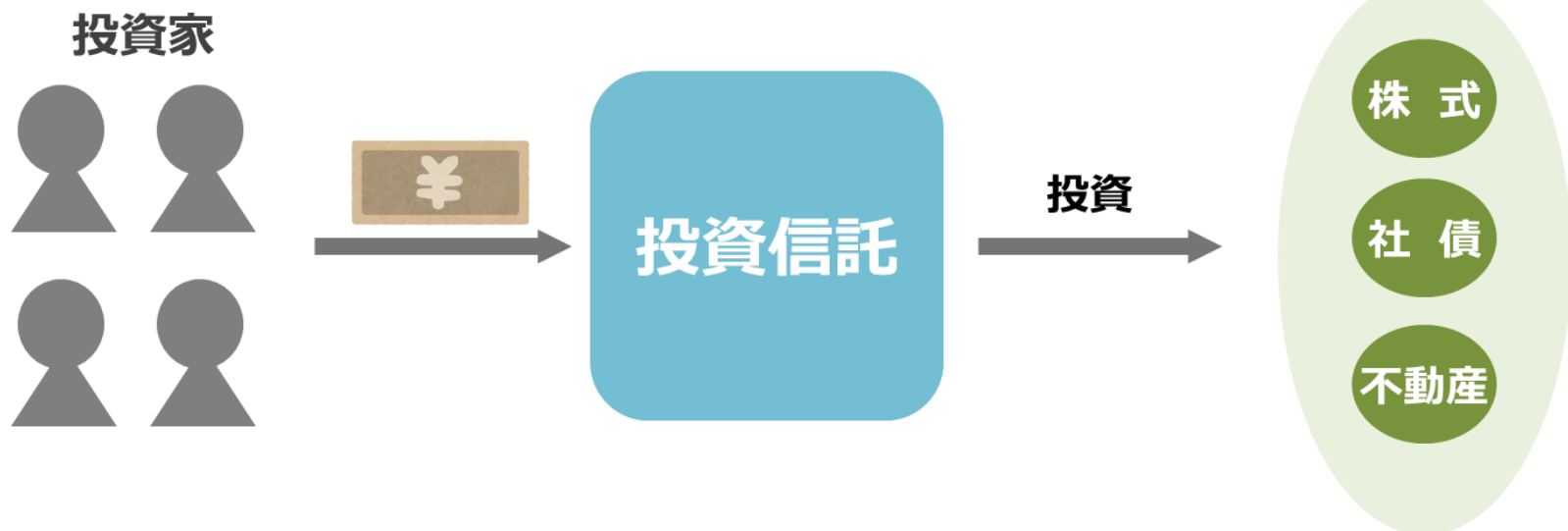


⇒ 株式は、**安全性は低い（△）**が、**高い収益性（◎）**が期待できる。
流動性は高い（○）。

4-10. 主な金融商品の特徴③

投資 信託

- ・ 多くの人から集めたお金を、1つにまとめて大きな資金にし、**株式**などに**投資する仕組み**
- ・ ファンドともいう
- ・ 株価の変動などによって、価格が日々変動する
(元本は保証されていない)
- ・ 少ない金額から購入できたり、分散投資もしやすい



⇒ 投資信託の**収益性、安全性は、投資対象次第**。流動性は高い（○）。

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

4-11. 主な金融商品の特徴まとめ

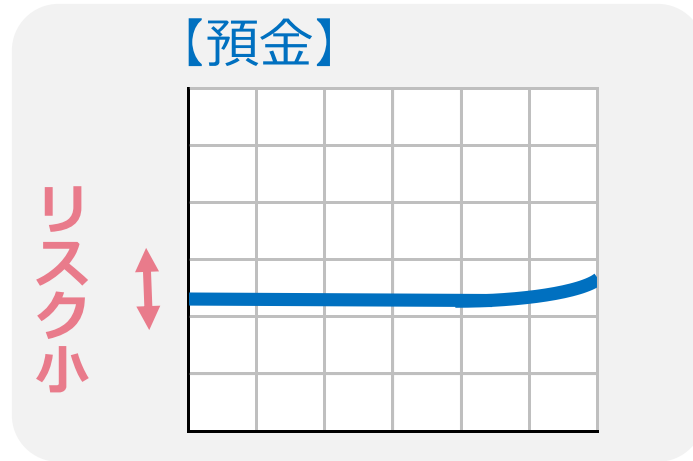
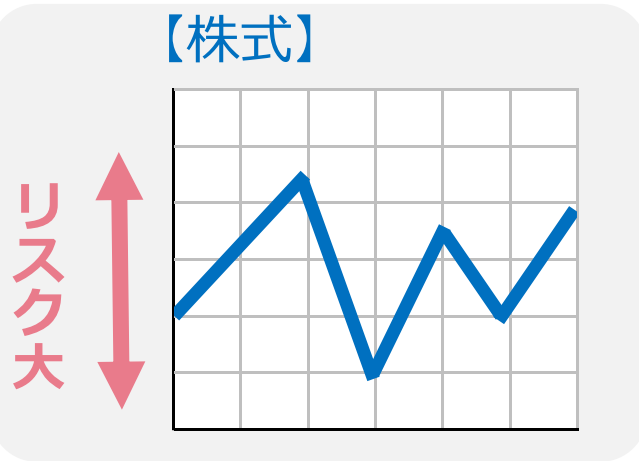
	安全性	収益性	流動性
預金・貯金	◎	△	◎
株式	△	◎	○
債券	○	○	△
投資信託	△～○	○～◎	○

⇒ 3つとも◎の金融商品はありません。目的に応じて使い分けましょう。

4-12. リスクとは？

- お金を運用した結果、得られる利益や損失のことを「リターン」といいます。
- このようなリターンの不確実性の大きさ、振れ幅の大きさのことを「リスク」といいます。

リターンの
振れ幅

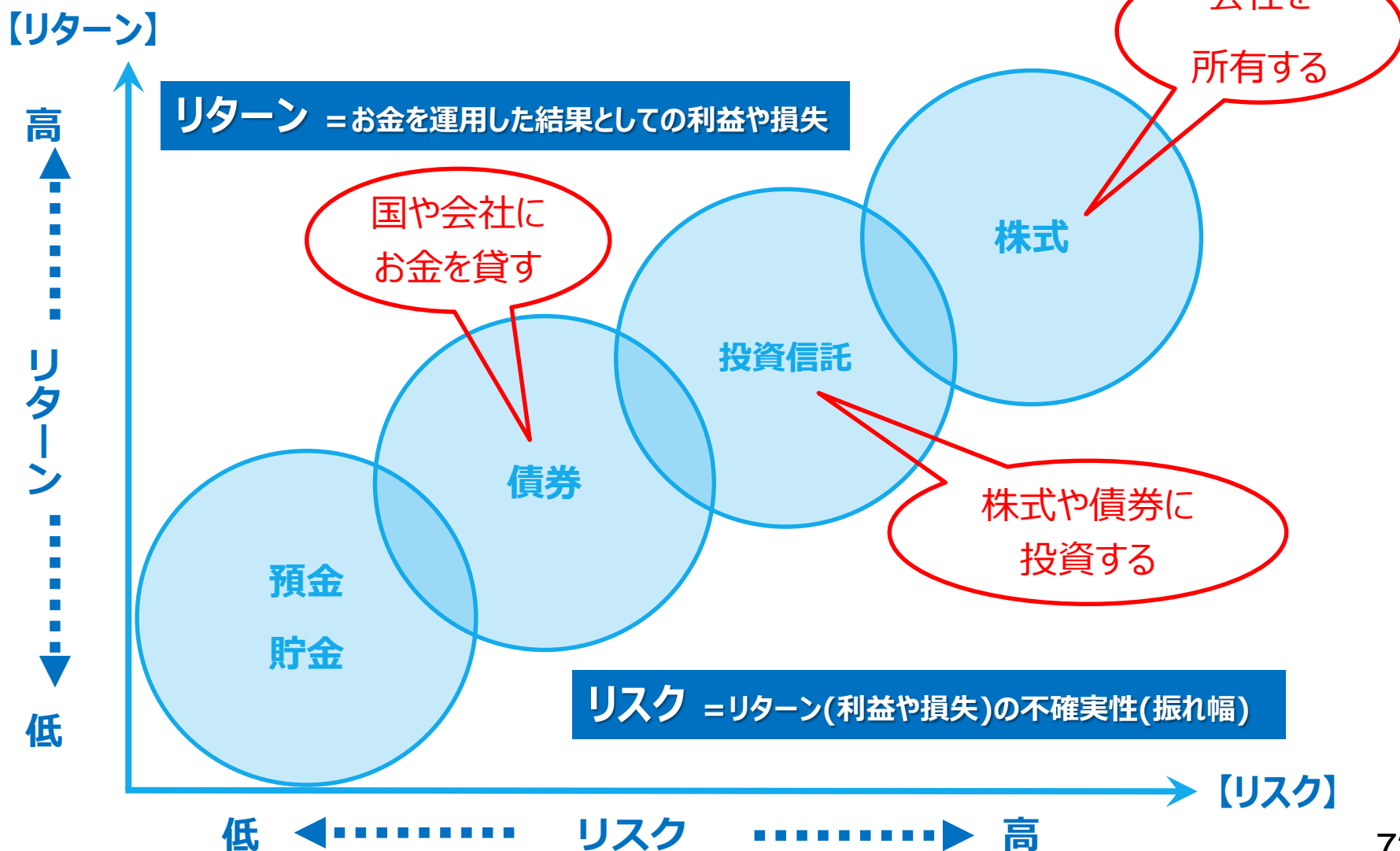


金融商品は自分の意思で選ぶため、
利益・損失は自己責任です。（自己責任原則）

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

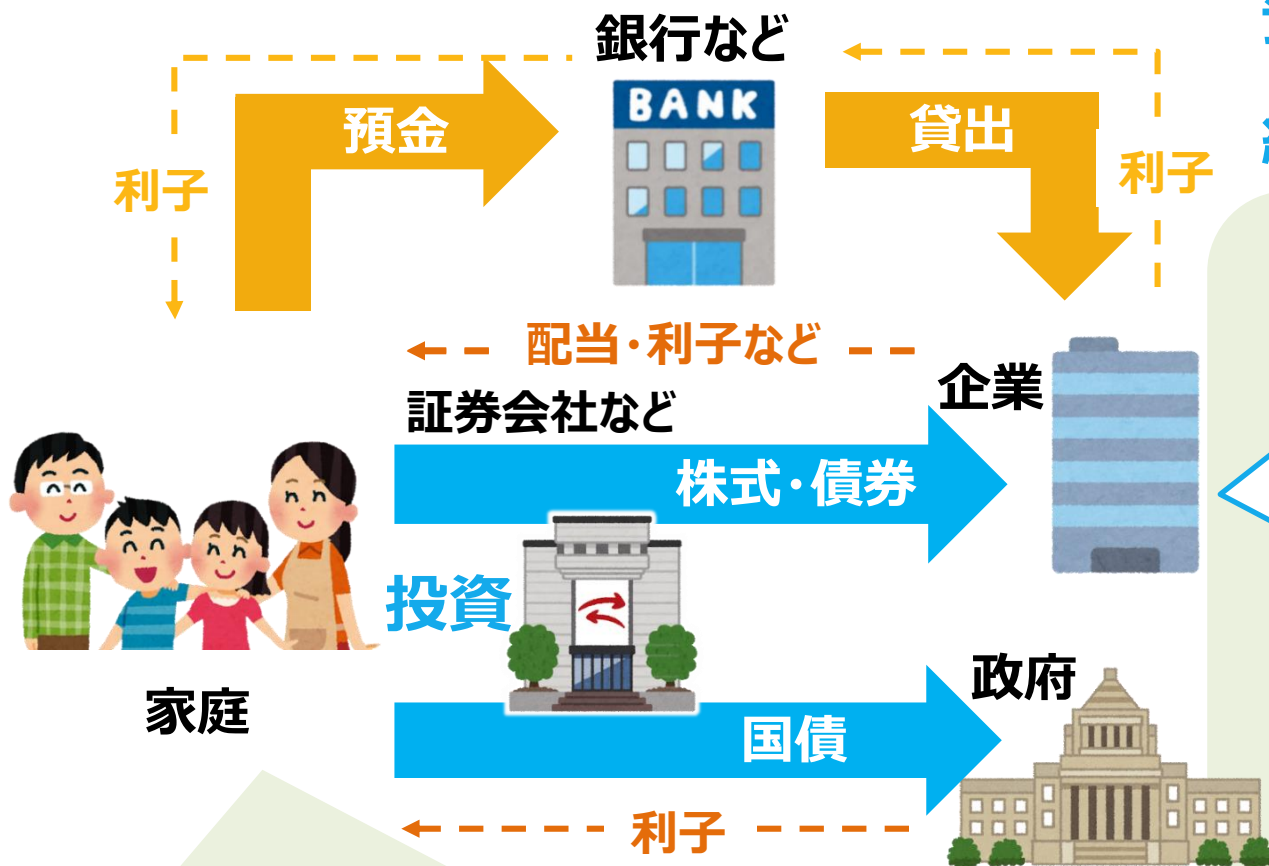
4-13. リスク・リターンの関係

(注) あくまでもイメージです。厳密な表現ではありませんので、ご注意ください。



4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

4-14. 預金と投資



預金や投資したお金は
経済活動に使われる

設備投資
商品・サービスの提供
株主への配当
従業員への給与

公共サービス

私たちの生活が
より豊かで便利に

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

4-15. 投資を通じて社会課題の解決に貢献

SDGsとは

「持続可能な世界を実現する」ことを目指して、国連サミットで採択された国際目標。貧困や飢餓、保健、教育、ジェンダー、環境、生産、雇用など、幅広く17のゴール・169のターゲットから構成される。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



私たち

商品の購入



投資



SDGsに取り組む企業

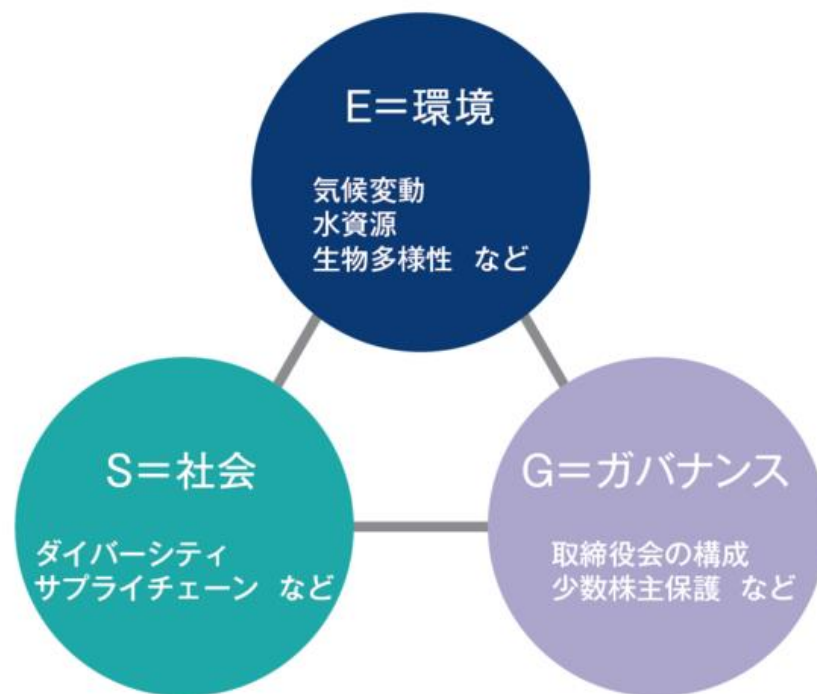
⇒ 消費（商品の購入）や投資（債券・株式の購入）等による資金提供を通じて、社会をより良くすることに貢献できる

4-16. ESG投資とは

ESGは、
環境 (Environment)
社会 (Social)
ガバナンス (Governance)
の英語の頭文字を合わせた言葉です。

投資するために企業の価値を測る材料として、これまではキャッシュフローや利益率などの定量的な財務情報が主に使われてきました。それに加え、非財務情報であるESG要素を考慮する投資を「**ESG投資**」といいます。

ESG に関する要素の例



(出所) 年金積立積立金管理運用独立法人

4-17. リスクを軽減するためにできること

(1) 低金利のもとでは、預金・貯金だけでは資産は増えません。

確かに、株式や投資信託などの投資運用商品は元本割れの可能性がありますが、ちょっとした工夫で、元本割れの可能性を軽減することが期待できます。

(3) キーワードは、「**長期**」「**積立**」「**分散**」投資。そして、「**非課税制度**」です。

(4) 「**長期**」「**積立**」「**分散**」がリスクと向き合うにあたって、いかに重要かを見ていきます。

4.「貯める・増やす」～資産形成

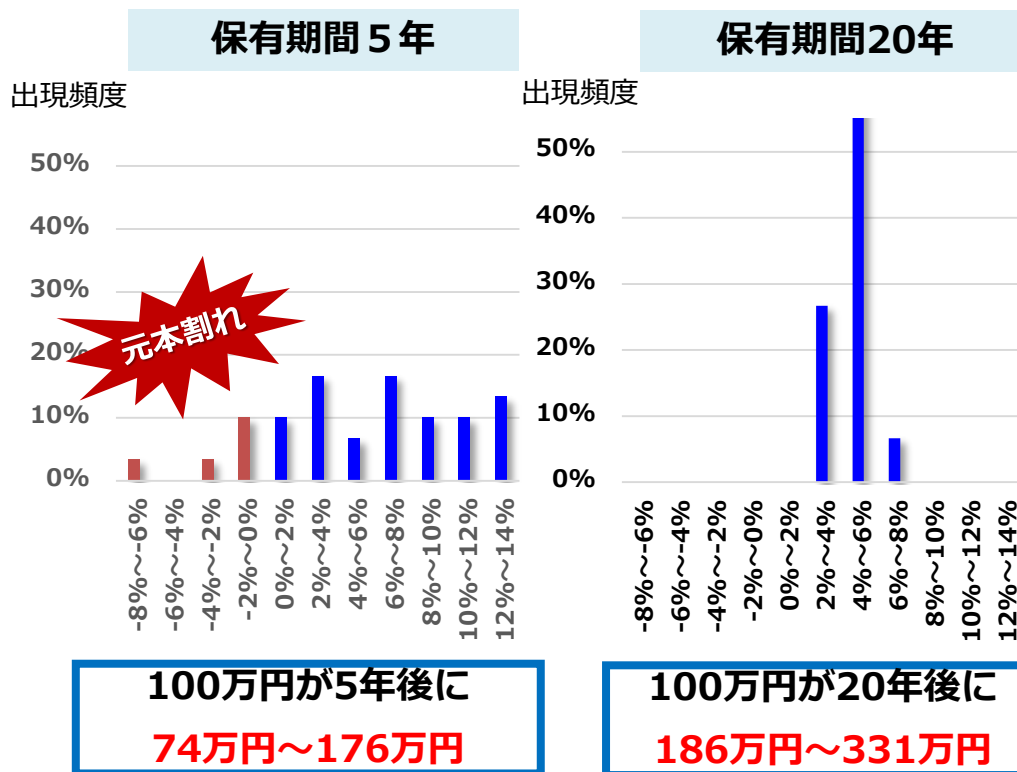
4-18. 長期投資

(1) 投資を長期間続けると、分散投資（後述）や複利の効果等とあいまって、結果的に元本割れする可能性の低減が期待できます。

(2) ただし、途中で売ったり積立投資をやめてしまうと、こうした効果は弱くなります。

(3) 例えば、投資信託の価格（基準価額）は上がったり下がったりしますが、こうした動きに過度に一喜一憂することなく、後述する**積立・分散投資を長期間にわたって続ける**方が結果的にパフォーマンスが上がるのが過去の実績です。

長期投資の運用成果*

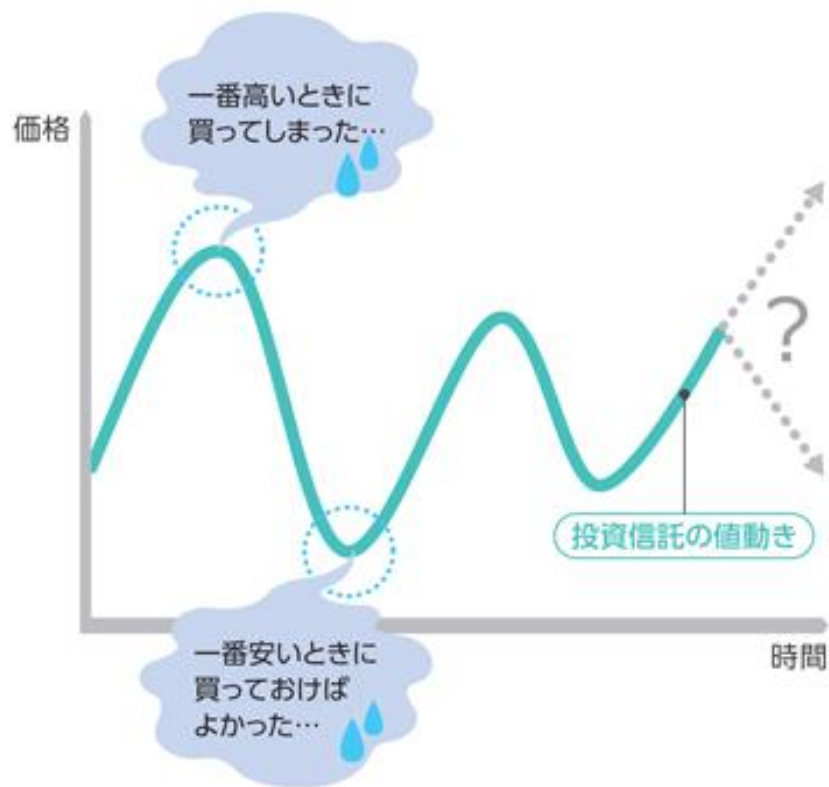


* 1989年以降、毎月同じ金額ずつ国内外の株式と債券に積立投資を行い、

5年間と20年間それぞれ保有した場合についての年間収益率と運用結果を計算したもの(金融庁作成)

4-19. 積立投資①

投資のイメージ



投資のタイミングをとらえるのは難しい...

積立投資

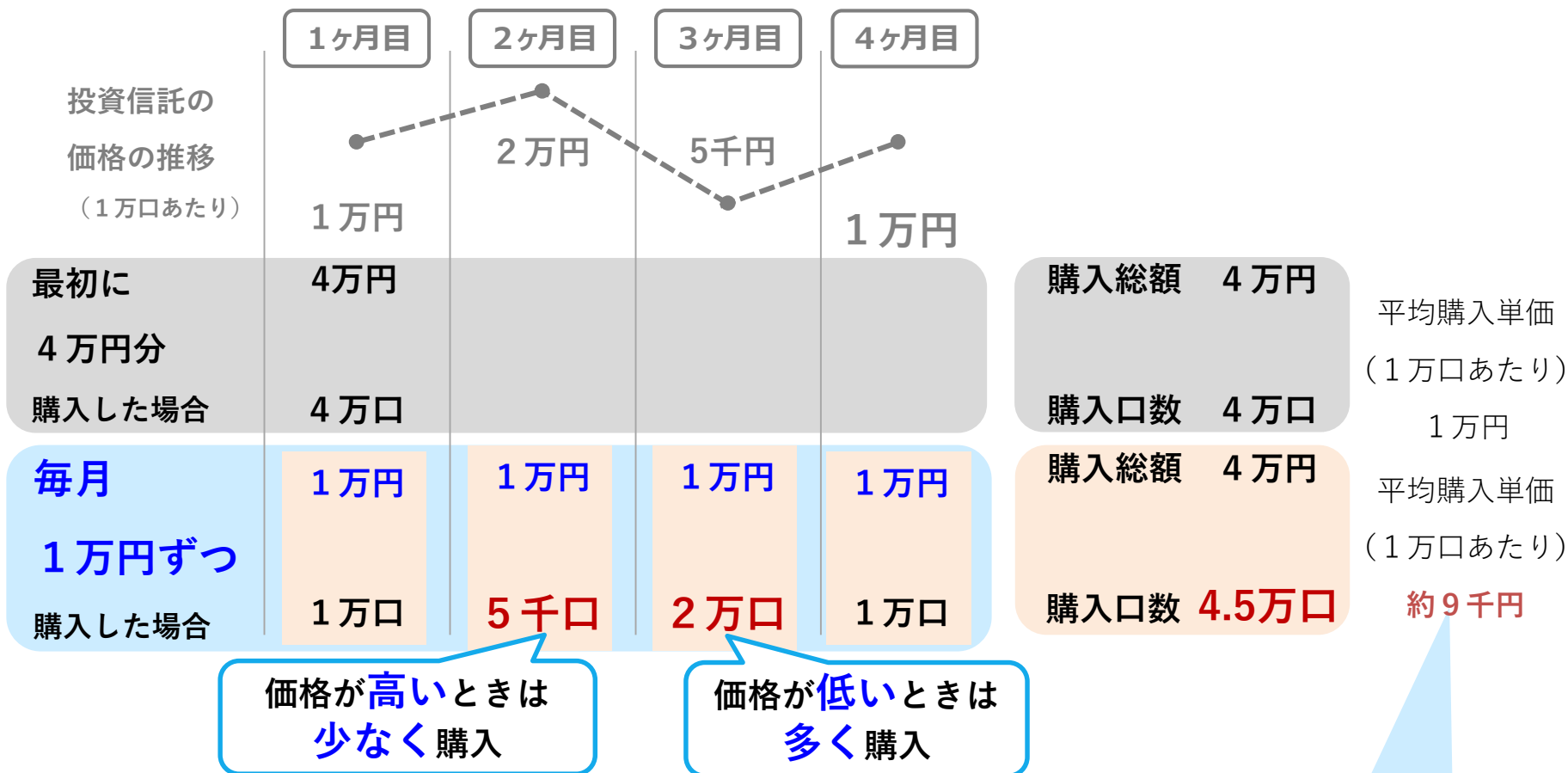
「あらかじめ決まった金額」を
「続けて」投資すること

→安いときに買わなかったり、高いときにだけ買ってしまおうことを防ぐ

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

4-20. 積立投資②

例えば、合計4万円の投資金額では



この例では、毎月1万円ずつ購入していた場合の方が、
平均購入単価を安くすることができた

4.「貯める・増やす」～資産形成

4-21. 分散投資

資産の分散

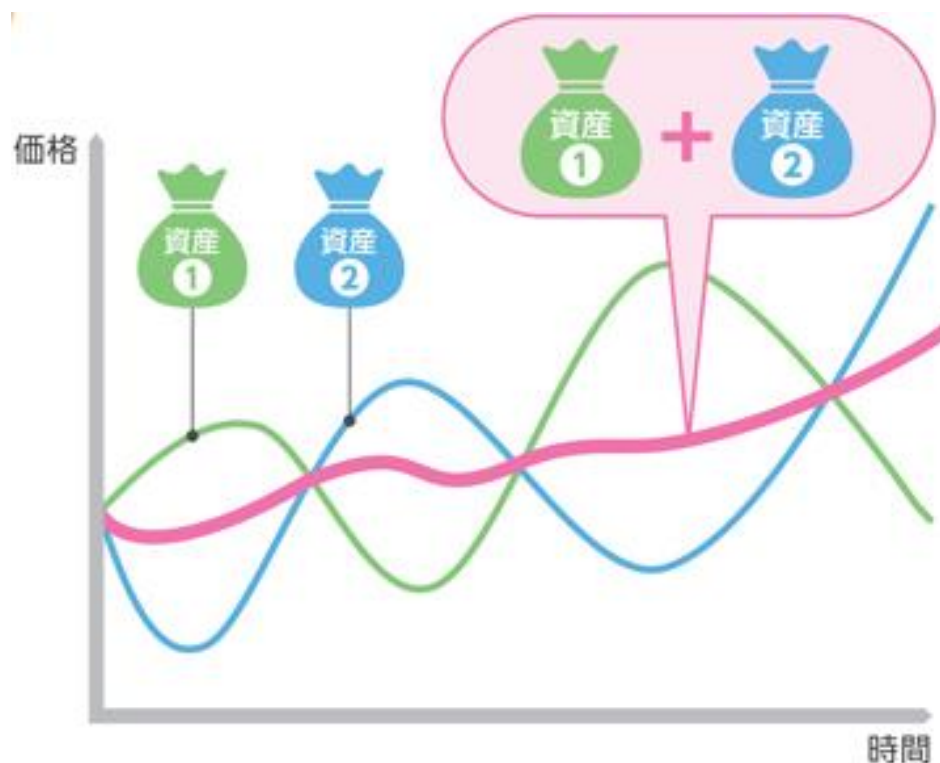
1つの資産だけに投資するより、**値動きの異なる複数の資産**に分散投資を行うことで、価格の変動が小さくなる

→**リスクを軽減**

地域の分散

投資先の地域を分散することで、より安定的に**世界経済の成長の果実（利益）**を得ることが期待できる

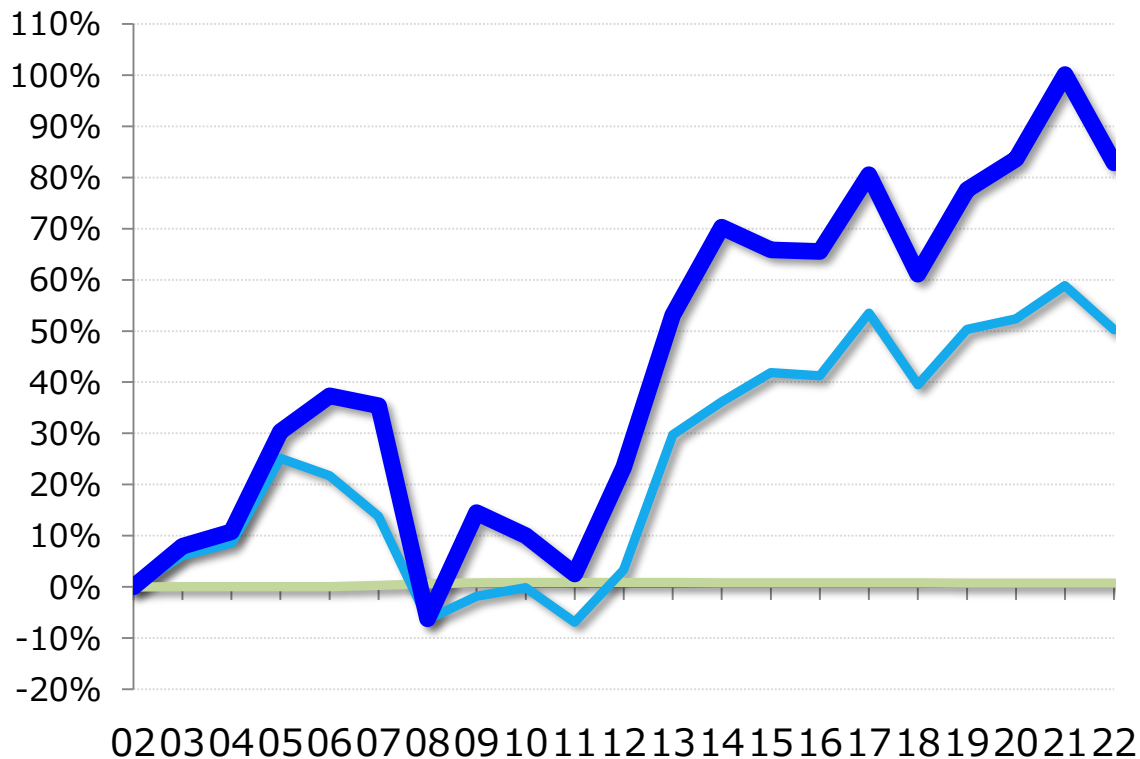
分散投資の効果（イメージ）



4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

4-22. 長期・積立・分散投資の効果

長期・積立・分散投資の効果（実績）



C : 国内・先進国・新興国の株・債券に1/6ずつ投資
82.84% [年平均3.06%]

B : 国内の株・債券に半分ずつ投資
50.28% [年平均 2.06%]

A : 定期預金
0.71% [年平均 0.04%]

(注) 各計数は、毎年同額を投資した場合の各年末時点での累積リターン。株式は、各国の代表的な株価指数を基に、市場規模等に応じ各国のウェイトをかけたもの。債券は、各国の国債を基に、市場規模等に応じ各国のウェイトをかけたもの。

(資料) Bloombergより、金融庁作成

4.「貯める・増やす」～資産形成

4-23. NISAとiDeCo～資産形成の税優遇制度～

	NISA (少額投資非課税制度)		iDeCo(イデコ) (個人型確定拠出年金)
税の優遇	運用益が非課税		運用益が非課税 毎年の所得税や住民税が少なくなる 受け取り時に支払う税金が少なくなる
対象者	18歳以上		原則20歳以上65歳未満 (公的年金被保険者)
拠出限度額 (年間)	つみたて投資枠	成長投資枠	年間14.4～81.6万円 (注1)
	年間 120万円	年間 240万円	
非課税保有限度額 (総枠)	1,800万円 (うち成長投資枠は1,200万円) 購入商品を売却した場合、購入時の買値分だけ翌年以降、枠の再利用が可能		—
投資可能商品	長期の積立・分散投資 に適した一定の投資信託 (金融庁の基準を満たしたものに限定)	上場株式・投資信託等 (一部の商品を除く) (注2)	投資信託 保険商品 定期預金等 金融機関が提示する商品の中から選択
投資方法	定期的に定額を積み立て	自由	定期的に定額を積み立て
払出し制限	引き出し可能		原則60歳まで引き出し不可

(注1) ・国民年金のみに加入の自営業者等：68,000円/月 ・公務員：12,000円/月 ・専業主婦(夫)等：23,000円/月
・会社員：企業年金無し23,000円/月、企業年金有り最大20,000円/月 (企業年金加入状況により異なるので、詳細は勤務先にご確認ください)

(注2) ①整理・監理銘柄、②信託期間20年未満、毎月分配型の投資信託及びデリバティブ取引を用いた一定の投資信託等を除外。

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

(体験) 資産形成シミュレーターを使ってみよう！ (1)

条件入力

資産シミュレーター 積立シミュレーター

投資金額 10万円 1,000万円 100万円

シナリオ1 シナリオ2 シナリオ3

利率 (年利)

0.001% 15% 0.001% 15% 0.001% 15%

0.001% 0.7% 7.2%

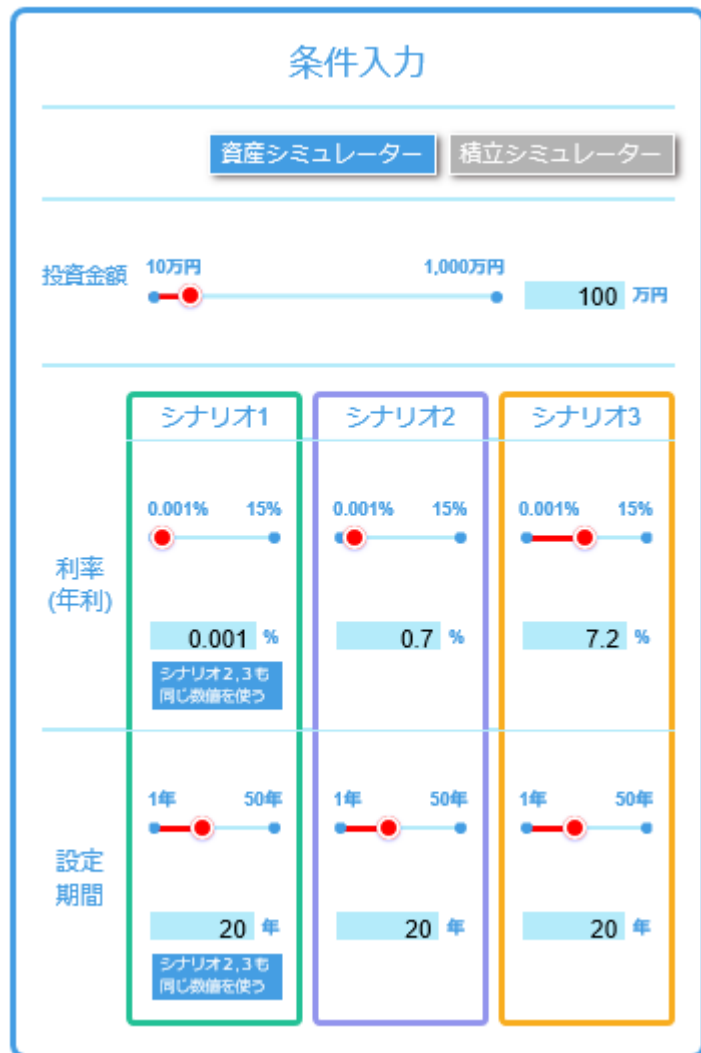
シナリオ2,3も同じ数値を使う

設定期間

1年 50年 1年 50年 1年 50年

20年 20年 20年

シナリオ2,3も同じ数値を使う

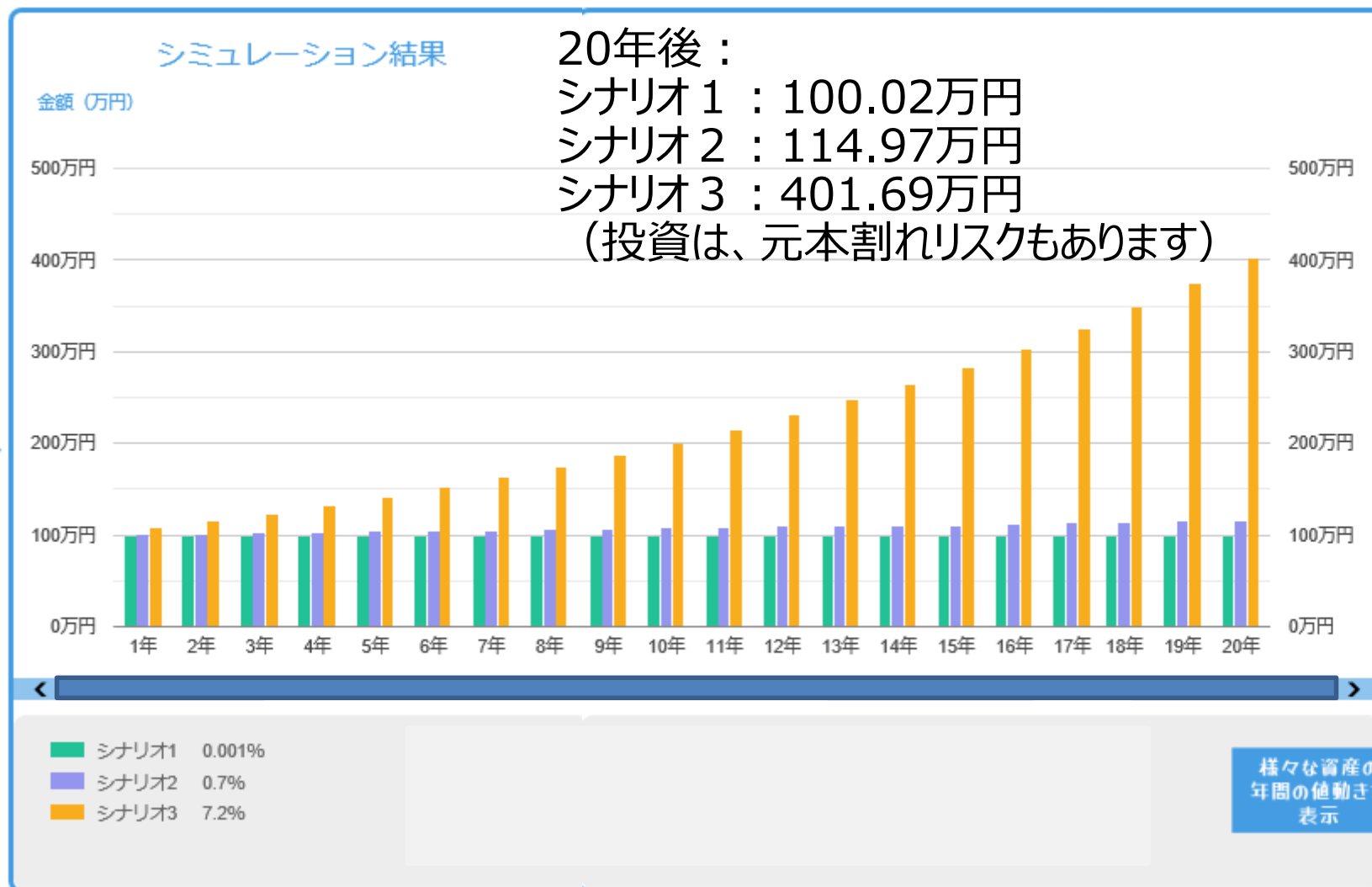


- 資産：積立：資産シミュレーターを選択
- 投資金額：100万円になっていますが、変更できます
- 利率：シナリオ1～3まで1年でどのくらい増えるか利率を入れます。シナリオ1は預金金利、シナリオ2は国内債券の平均利回り、シナリオ3は海外株式の平均利回りです
- 設定期間：長期投資の目標である20年にセットしています



4.「貯める・増やす」～資産形成

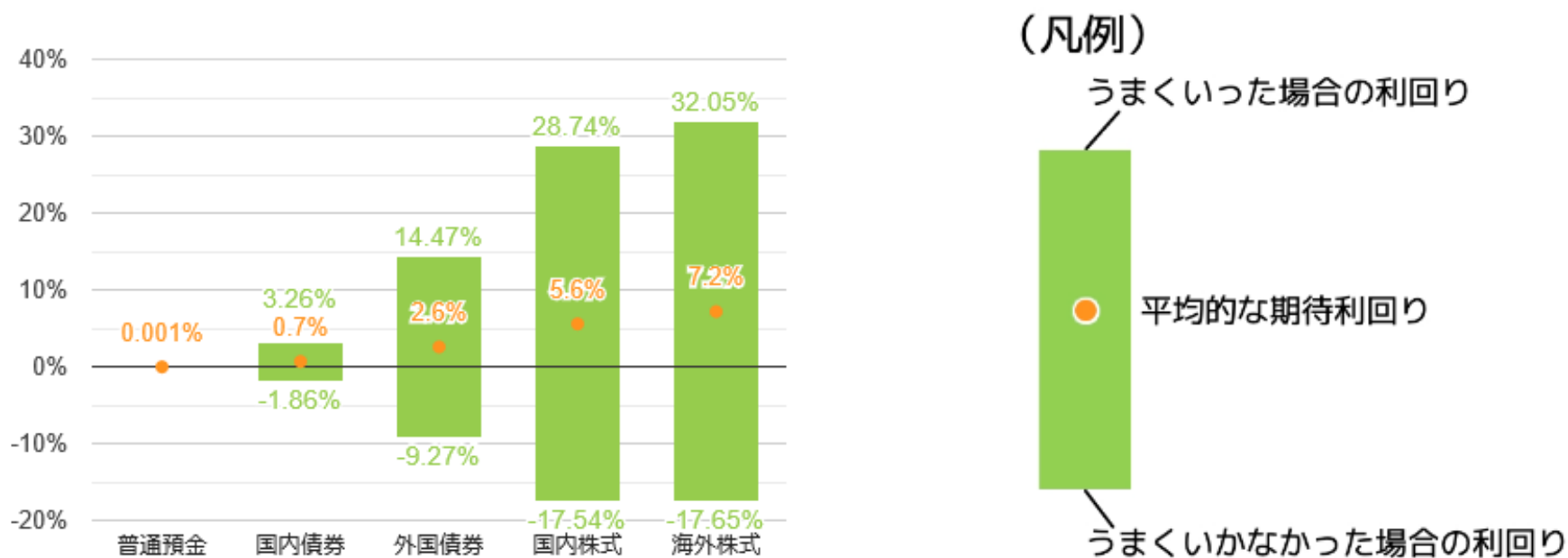
(体験) 資産形成シミュレーターを使ってみよう！ (2)



4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

(体験) 資産形成シミュレーターを使ってみよう！ (3)

様々な資産の年間の値動きの想定



出所：年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の基本ポートフォリオの考え方を基に金融庁が算定

4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

まとめ①（4章のポイント）

- (1) **目的別に金融商品を活用**しながら、自分に合った資産形成を行い、将来に向けて準備しましょう。

- (2) お金を預けると利子をもらえ、お金を借りると利子を払わなくてははいけません。**利子は金額、利率は%**で示されます。

- (3) 元本のみにも利子がつくことを**「単利」**、利子も運用すれば利子にも利子がつくことを**「複利」**といいます。

- (4) 金融商品の3つの基準**「収益性」「安全性」「流動性」**を全て満たす商品はありません。目的に応じて使い分けましょう。

- (5) **「預貯金」「債券」「株式」「投資信託」**の特徴を知りましょう。

- (6) 投資とは自分の資金を経済活動に提供することで、利益の一部を受け取ることです。経済活動により、**私たちの生活がより豊かで便利**になります。

まとめ②（4章のポイント）

- (7) お金を運用した結果、得られる利益や損失のことを「**リターン**」といいます。このリターンの不確実性の大きさを「**リスク**」といいます。
-
- (8) 金融商品の**リスク・リターンの関係**を理解しましょう。金融商品は自分の意思で選ぶため、**利益・損失は自己責任**です。
-
- (9) 投資を通じて、社会課題の解決（**SDGs**）に貢献することも考えられます。**ESG投資**とも呼ばれます。
-
- (10) 投資運用商品は**元本割れ**の可能性があります。工夫することで、元本割れリスクの軽減が期待できます。「**長期**」「**積立**」「**分散**」投資、「**非課税制度**」がキーワードです。
-
- (11) 代表的な「非課税制度」として、「**NISA**」と「**iDeCo（個人型確定拠出年金）**」があります。
-
- (12) 2024年から「**新しいNISA**」が始まります。
-



5 「借りる」



クイズ

?

友達と海外旅行に行くので、金利16%で20万円を借りた。毎月5,000円ずつ返済する場合、返済には何年かかり、総額いくら返すことになるでしょうか？

- ① 1年、約21万円
- ② 3年、約25万円
- ③ 5年、約29万円





5-1. 「借りる」とは

(1) お金を「借りる」とは、**将来の収入の先取り**です。

(2) 住宅のような高額のもものは、必要な金額を貯めるのに時間がかかることが多いので、多くの人**が住宅ローン**を利用します。

(3) お金を「借りる」と一般的に**利子（金利）**が発生します。

(4) 消費者ローンやカードローンなどローンを利用する際は**借り過ぎに注意**が必要です。

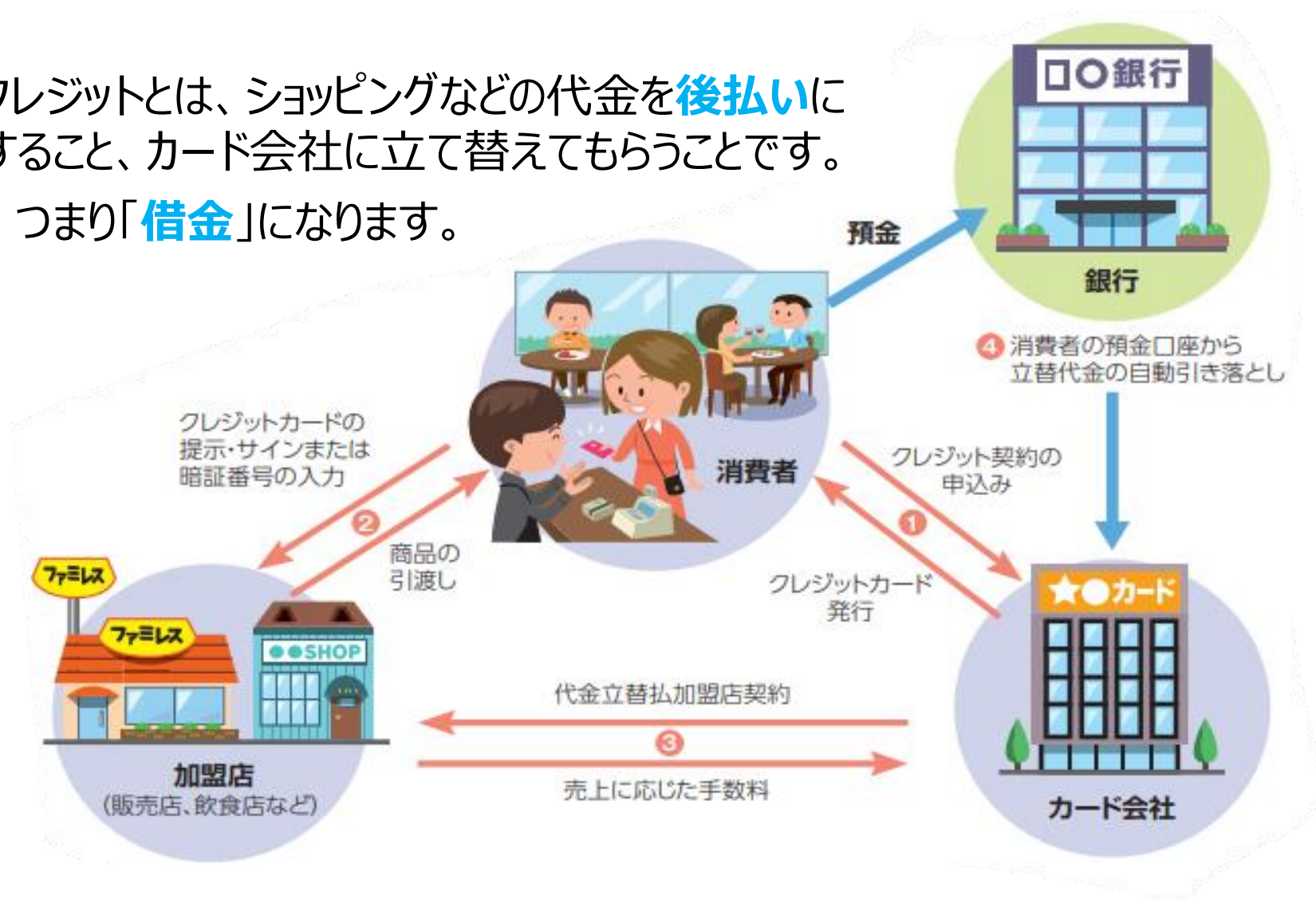
(5) **後払い（クレジットカード）**も、分割払いやリボ払いでは手数料（実質的には金利）が発生します。

5. 「借りる」

5-2. 後払い（クレジットカード）の仕組み

クレジットとは、ショッピングなどの代金を**後払い**にすること、カード会社に立て替えてもらうことです。

つまり「**借金**」になります。



5.「借りる」

5-3. クレジットカード

(1) クレジットカードを使うことは、**お金を借りること**です。

(2) 使い方は、**クレジット**と**キャッシング**に大別されます。

✓ クレジットとは、**物やサービスを買う**ためにカードでお金を**借りる**こと。1回払い(一括払い)、2回払い、・・・6回払い、・・・12回払い、・・・36回払い、リボ払い、などがあります。

✓ キャッシングとは、クレジットカードを使いお金を**引出す**(借りる)こと。

(3) **手数料(金利)***を知りましょう。(手数料の一般的な例は以下の通り)

1~2回	6~15回	18~36回	リボ払い	キャッシング
なし	11~15%	12~15%	12~15%	15~18%

(4) **リボ払い**は、いくら使っても毎月の返済額が一定ですが、借入額がなかなか減らず、支払う金利が大きくなりがちです。

(5) **自分のルール**を定めましょう。

—例:「1回払いだけにする」(ポイントを貯めるために使う)

*利息制限法により、上限金利が定められています。

5.「借りる」

(体験) 借金シミュレーターを使ってみよう！ (1)

条件入力

借金の種類

借入金額 1万 100万 20万
マイホーム購入などの金額を入力

返済手段・金利 0.1% 20% 16%

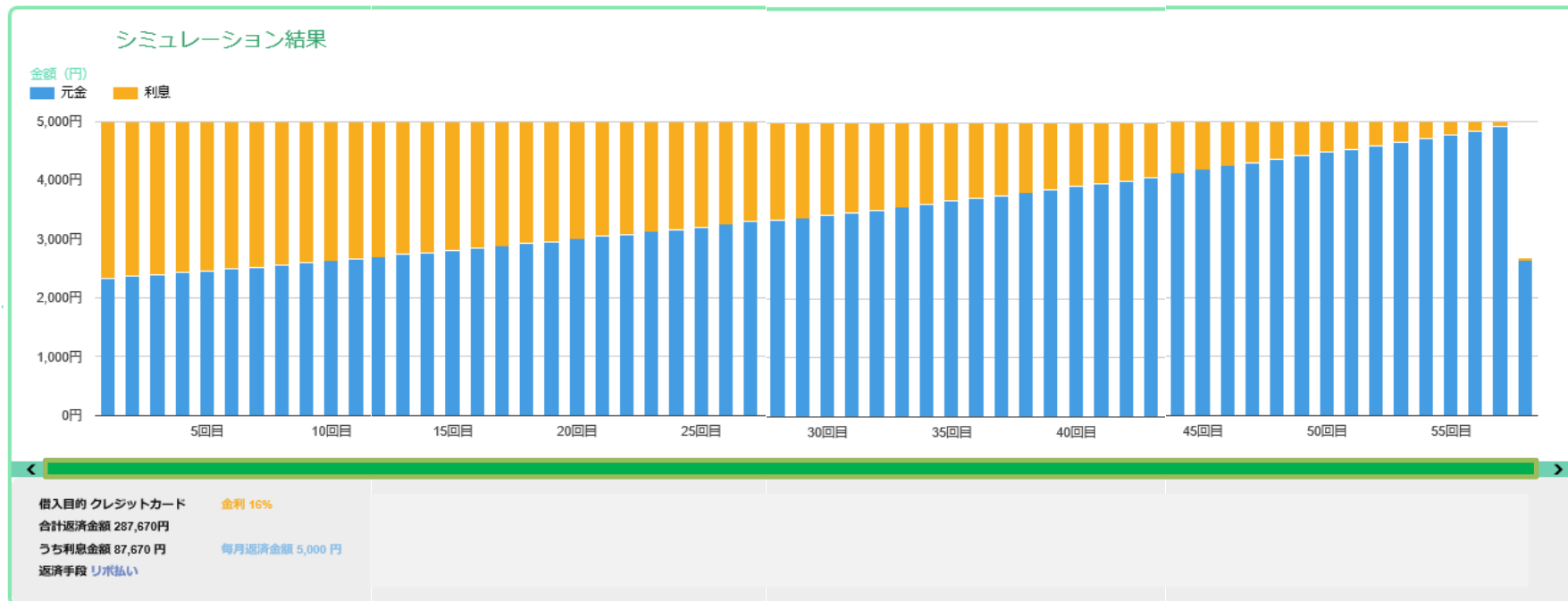
月額返済金額 3千円 10万円 5,000円

- 借金の種類：クレジットカードを選択
- 借金金額：20万円を選択
- 分割・リボ払い：リボ払いを選択
- 返済手段・金利：16%を選択
- 月額返済金額：5000円を選択



5. 「借りる」

(体験) 借金シミュレーターを使ってみよう！ (2)



- 棒グラフは毎月の返済額です。元金部分が青、利息部分はオレンジです。
- 20万円をリボ払いで毎月5000円返済、金利16%だと、
- 合計返済金額は287,670円、うち利息金額は87,670円となります。返済回数は58回（約5年）です。



5-5. お金を借りる

- (1) 借りる前に返済のイメージを持ちましょう！
(毎月の返済額や返済期間を確認する)
-

- (2) 金利に注意しましょう！
-

クレジットカードなどでは、年収の1/3を超える金額を借りることはできません。

- (3) 収入があっても、資金使途にギャンブルなど不自然な点がある場合は借りられません。
-

5. 「借りる」

5-6. 奨学金の仕組み

奨学金とは、経済的理由で修学が困難な優れた学生に学費の「給付」または「貸与」する制度です。

給付型奨学金： 家計や学業成績の基準があります
返済の必要はありません

貸与型奨学金： 返済の必要があります
無利子と利子付があります



5. 「借りる」

5-7. 大学在学中にかかる教育費・生活費

単位：万円

	入学金 授業料等	生活費		合計	
		自宅	自宅外	自宅	自宅外
国立大学	243	142	457	384	700
私立大学	469	157	437	626	906

(参考) 大学学部生の在学中平均収入

単位：万円

家庭からの給付	奨学金	アルバイト	その他	合計
458	149	147	17	771

(出所) 金融リテラシー連続講義「第2回人生とお金」講義資料

次の資料をもとに金融広報中央委員会で試算。

文部科学省「国立大学の授業料等の推移」

〃 「私立大学等の令和元年度入学者に係る学生納付金等調査結果」

日本学生支援機構「令和2年度学生生活調査結果」

5. 「借りる」

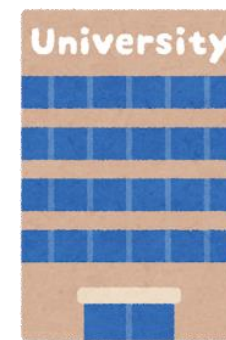
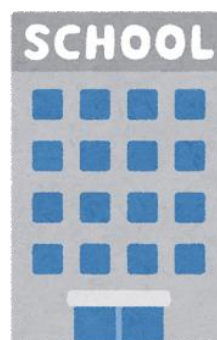
5-8. 貸与型奨学金の利用

例 1) 国公立4年生大学に自宅から通う場合 :

- **貸与型**奨学金で入学金30万円と授業料210万円、**計240万円**借りる。
- 生活費はアルバイトで稼ぐ。

例 2) 私立文系4年生大学に自宅**外**から通う場合 :

- **貸与型**奨学金で入学金授業料等380万円と、生活費の一部として220万円 (年55万円×4年) 、**計600万円**を借りる。
- 生活費はアルバイトでも稼ぐ。



5-9. 貸与型奨学金の返済

例 1) 国公立4年生大学に自宅から通う場合に、240万円借入

- ・卒業7か月後から返済がスタート
- ・**毎月13,819円返済、計15年で返済完了**
- ・最終月の返済額は13,972円。返済総額は2,487,573円。
- ・22歳で卒業した場合、37歳で返済が終了。

例 2) 私立文系4年生大学に自宅外から通う場合に、600万円借入

- ・卒業7か月後から返済がスタート
- ・**毎月26,201円返済、計20年で返済完了**
- ・最終月の返済額は26,273円。返済総額は6,288,312円。
- ・22歳で卒業した場合、42歳で返済が終了。

(注1) いずれの例も、毎月定額返済、利率0.45%、機関保証制度ありの場合でシミュレーションを実施。

(注2) 返済方法を変更することで、もっと早く返済を完了させることも可能。

(出所) 独立行政法人 日本学生支援機構 奨学金貸与・返還シミュレーション



まとめ（5章のポイント）

- (1) お金を「借りる」と一般的に利子（金利）が発生します。**元本と利子、両方を返済**する必要があります。

- (2) **クレジットカード**の利用もお金を借りることになります。**手数料**（実質的には金利）が発生します。

- (3) 借りる前に**返済のイメージ**を持ちましょう。
（毎月の返済額、返済期間、返済総額を確認する）

- (4) **金利**や**借り過ぎに注意**が必要です。

- (5) 必要に応じて、**奨学金**の仕組みを理解し活用しましょう。家計管理をしっかりと、計画的に返済しましょう。



6 金融トラブル



クイズ



金融トラブルの相談窓口は？

- ① 117番
- ② 171番
- ③ 188番



6. 金融トラブル

6-1. 金融トラブルの具体例①

マルチ商法（ネットワークビジネス）

友達づきあい
SNS



バイナリーオプションって知ってる？
分析ツールが入ったUSB を買えば、
簡単に、絶対儲かるよ！

お金がなくても、**学生ローン**で借りるといい。
すぐに利益が出て返せるよ！

誰かを**紹介**すると**報酬**がもらえるよ！

6. 金融トラブル

6-2. 金融トラブルの具体例②

友達づきあい SNS



暗号資産（仮想通貨）に投資すれば、
月●万円くらいは稼げるよ！

海外の不動産事業に投資すれば、
1年後には●倍になるよ！

トラブル

- 多額の損失が発生した
- 業者と連絡がつかなくなった
- お金が返ってこない
- 無登録業者に注意！

6. 金融トラブル

6-3. 金融トラブルの具体例③

SNS個人間融資

SNS ネット掲示板



お金を貸します！審査不要！

#個人間融資

#お金を貸します

#ひととき融資

トラブル

- ヤミ金融業者により、違法な高金利での貸付けが行われる
- 個人情報が悪用され、犯罪被害やトラブルに巻き込まれる

6. 金融トラブル

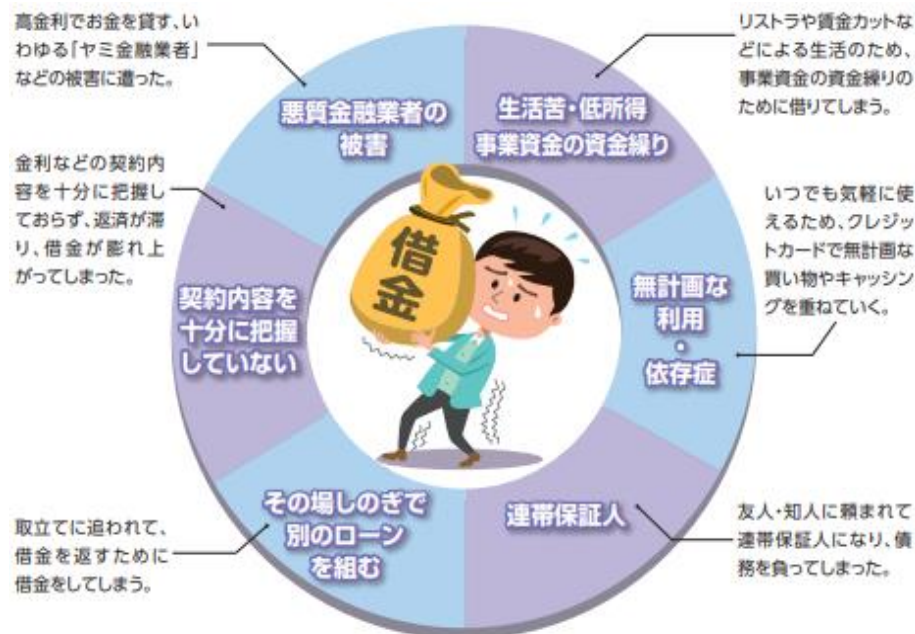
6-4. 金融トラブルの具体例④

多重債務

- 複数の業者から返さけない借金を背負ってしまふことがあります。
- 軽い気持ちで**高金利の借金**をすると、借金はすぐに膨らみます。
- **収入の範囲内で生活**すること、高金利の借金をしないことが重要。

多重債務に陥ってしまったら、
多重債務相談窓口に相談

多重債務になる原因





6-5. トラブルを避けるには



トラブルを避けるには、どうすればよいでしょうか？

鉄則は3つ！

(1) **おいしい話には気をつける**

「ローリスク・ハイリターン」はあり得ない＝「おいしい話」は存在しない。

(2) **向こうから近寄ってきてもしっかり断る**

「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮は無用。「いりません」とはっきり言いましょう。


(3) **万がートラブルに遭っても、決して諦めない**

ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで道が開ける。



6-6. トラブルに遭ってしまったら

悪質な業者との契約の取り消し・無効

- (1) 未成年者による法律行為  **18歳になったら取消せません (2022年4月より)**
→ **民法** (親などの同意がない等の法律行為の取り消し)
- (2) 不当な契約条項、不当な勧誘による契約
→ **消費者契約法** (条項無効、契約取り消し)
- (3) 訪問販売、訪問購入、電話勧誘、エステ、語学教室、マルチ商法、内職・モニター商法
→ **特定商取引法** (クーリング・オフ制度による解約など)
→ 通信販売 (ネット通販含む) はこの法律によるクーリング・オフの対象外!
但し、事業者は返品の内容等を表示する要。表示がない場合、8日間は返品が可能 (送料は購入者負担)。
* いずれも期限・時効があるので、早めに相談窓口で対処法を相談しよう。

消費トラブル等に関する相談窓口

- (1) **まずは188番 (いやや!) に電話**
→ 消費者ホットラインが、消費生活センターの相談窓口を案内
- (2) 金融サービスについては、金融庁や業界団体等が相談窓口を設置



まとめ（6章のポイント）

- (1) **金融トラブルの手口**を知りましょう。
「絶対に儲かる」はありません。

トラブルを避けるには、①**おいしい話**には気をつける、②向こうから近寄ってきても**はっきり断る**、③万が一トラブルに遭っても、**決して諦めない**ことが大切です。

- (2) **決して諦めない**ことが大切です。

- (3) トラブルに遭ってしまったら、悪質な業者との**契約の取り消し・無効**を求めましょう。

- (4) また、**188番**（消費者ホットライン）に電話して相談しましょう。



7 まとめ



- (1) **ニーズとウォンツ**に分けて、お金を賢く使いましょう。

- (2) 家計管理をしっかりと行い、**貯蓄できる仕組み**を作りましょう。

自分が人生でやりたいことを考え、**ライフプラン**を立てましょう。
- (3) また、「教育」「住宅」「老後」という人生の**3大費用**を計画的に準備しましょう。

- (4) ライフプランに合わせて、**社会保険、資産形成、民間保険**の利用を組み合わせてみましょう。

- (5) **金融商品の特徴**を理解し、目的別に金融商品を活用し、将来に向けて準備をしましょう。



- 投資とは自分の資金を経済活動に提供することで、利益の一部を受け取ることです。経済活動により、**私たちの生活がより豊かで便利**になります。
-
- (7) お金を借りる際には、事前に**返済のイメージ**を持ちましょう。**金利や借り過ぎには注意**が必要です。
-
- (8) **金融トラブルの手口**を知り、トラブルを避けましょう。トラブルに遭遇してしまったら、**188番**に電話して相談しましょう。
-
- (9) **キャッシュレス**の活用が進んでいるように、これからも新しい金融商品・サービスがでてきます。今後も必要な知識を身につけ、うまく活用しましょう。
-
- (10) この講座をきっかけとして、みなさんが少しでも「**金融**」に興味を持ってくれたら幸いです。

7.もっと知りたい方は

金融庁のHPをご覧ください！

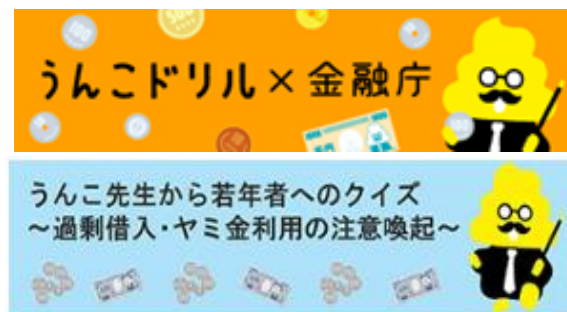


<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/index.html>



特設サイトからもアクセスできます！

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/unko/>



家計管理から、
金融トラブルまで、
生活に必要なお
金の知識を幅広
く学ぶことができ
ます！

<https://www.fsa.go.jp/teach/kou4.pdf>

